

1. 水稻

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
MCPソーダ塩	落水散布	有効分けつ終止期～幼穂形成期前(但し、収穫60日前まで)	1回(MCPA1回)	
アカツキ1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(フェキサスホン2回以内、フェンキトリン2回以内、メタゾスルフロン2回以内)	
	湛水散布	移植直後～ルビエ3葉期(但し、収穫60日前まで)		
アクシズMX1キロ粒剤	湛水散布	移植後7日～ルビエ4葉期(収穫45日前まで)	1回(ピリフタド2回以内、メトリン2回以内、メタゾスルフロン2回以内)	
	無人ヘリコプターによる散布			
アシュラフロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	1回(トリアフェモン2回以内、ピラクロニル2回以内、ベンゾビシクロン3回以内)	
	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	移植直後～ルビエ4葉期(但し、移植後30日まで)		
アットウZ1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(テフリトリオン2回以内、ピラクロニル2回以内、プロピリスルフロン2回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布。	移植直後～ルビエ4葉期(但し、収穫60日前まで)		
アッパレZジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植後3日～ルビエ3葉期(但し、移植後30日まで)	1回(ピラクロニル2回以内、プロピリスルフロン2回以内、プロモブチト2回以内)	
アトトリ1キロ粒剤	湛水散布又は無人航空機による散布	移植後14日(稲5葉期以降)～ルビエ4葉期(但し、収穫45日前まで)	1回(ピリミスルファン2回以内)	
アトトリ豆つぶ250	湛水散布又は無人航空機による散布	移植後14日(稲5葉期以降)～ルビエ4葉期(但し、収穫45日前まで)	1回(ピリミスルファン2回以内)	
アピログロウMXジャンボ ロータスMXジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植後3日～ルビエ3葉期(但し、移植後30日まで)	1回(ピラゾスルフロンエチル1回、ピリフタド2回以内、プレチクロール2回以内、メトリン2回以内)	
アールタイプ1キロ粒剤 シュナイデン1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(ピラゾレート2回以内、ベンゾビシクロン3回以内、メタゾスルフロン2回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布	移植直後～ルビエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)		
アルハープフロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	1回(テニルクロール2回以内)	
	原液湛水散布	植代後～移植前7日又は移植直後～ルビエ1葉期(但し、移植後30日まで)		
イネキング1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(ピラクロニル2回以内、ピラゾレート2回以内、ベンゾビシクロン3回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布	移植直後～ルビエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)		

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
イネリーグフロアブル	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	移植直後～ヒ ^レ エ3葉期 (但し、移植後30日まで)	1回(クロメ ^フ ロップ ² 回以内、テフリトリオン2回以内、フェントラサ ^ミ ト ¹ 回以内)	
イノーバDXアップ1 キロ粒剤51	田植同時散布機で施用	移植時	1回(タ ^イ ム ³ 回以内(但し、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)、フェントラサ ^ミ ト ¹ 回、プロモ ^フ チ ^ト 2回以内、ベン ^ス ル ^フ ロン ^メ チ ^ル 2回以内)	
	湛水散布	移植直後～ヒ ^レ エ2.5葉期 (但し、移植後30日まで)		
ウィードコア1キロ粒剤	湛水散布又は無人航空機による散布	移植後7日～ヒ ^レ エ4葉期 (但し、収穫60日前まで)	2回以内(フル ^ビ ラ ^キ ン ^フ エン ^ベ ン ^ジ ル ³ 回以内、ヘ ^ノ キ ^ス ラム ² 回以内、ベン ^ソ ビ ^シ クロ ^ン 3回以内)	
エーワン1キロ粒剤	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	移植後5日～ヒ ^レ エ3葉期 (但し、収穫45日前まで)(壤土～埴土)	1回(テフリトリオン2回以内、オキサ ^ジ クロ ^メ ホ ^ン 2回以内)	
		移植後5日～ヒ ^レ エ2.5葉期 (但し、収穫45日前まで)(砂壤土)		
エリジャン乳剤	原液湛水散布	植代後～移植7日前まで	1回(フ ^レ チ ^ラ クロ ^ル 2回以内)	
		移植直後～ヒ ^レ エ1葉期 (但し、移植後30日まで)		
エリジャンジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	植代後～移植前7日又は移植直後～ヒ ^レ エ1葉期 (但し、移植後30日まで)	1回(フ ^レ チ ^ラ クロ ^ル 2回以内)	
エンペラー豆つぶ250	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布	移植直後～ヒ ^レ エ3葉期 (但し、収穫60日前まで)	1回(ヒ ^ラ クロ ^ニ ル ² 回以内、ヒ ^リ ミ ^ハ ック ^メ チ ^ル 2回以内、フェン ^キ ノ ^ト リ ^オ ン ² 回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布	籾出芽揃期～ヒ ^レ エ3葉期 (但し、収穫60日前まで)	1回(ヒ ^ラ クロ ^ニ ル ² 回以内、ヒ ^リ ミ ^ハ ック ^メ チ ^ル 2回以内、フェン ^キ ノ ^ト リ ^オ ン ² 回以内)	直播水稻
オサキニ1キロ粒剤	湛水散布、ごく浅く湛水して散布又は無人ヘリコプターによる散布	は種直後～ヒ ^レ エ3葉期 (但し、収穫90日前まで)	1回(イ ^マ ヅ ^ス ル ^フ ロン ² 回以内、ヒ ^リ ミ ^ハ ック ^メ チ ^ル 2回以内、プロモ ^フ チ ^ト 2回以内)	直播水稻
オシオキMX1キロ粒剤	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	移植後14日～ヒ ^レ エ4葉期 (但し、収穫45日前まで)	1回(ア ^ジ ム ^ス ル ^フ ロン ¹ 回、ヒ ^リ フ ^タ ト ² 回以内、メ ^ト リ ^オ ン ² 回以内)	
カイリキZフロアブル	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	移植後3日～ヒ ^レ エ3葉期 (但し、移植後30日まで)	1回(イ ^フ フェ ^ン カ ^ル バ ^ツ ン ² 回以内、テフリトリオン2回以内、プロ ^モ リ ^ス ル ^フ ロン ² 回以内)	
カイリキZジャンボ	水口施用又は水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植3日後～ヒ ^レ エ3葉期 (但し、移植後30日まで)	1回(イ ^フ フェ ^ン カ ^ル バ ^ツ ン ² 回以内、テフリトリオン2回以内、プロ ^モ リ ^ス ル ^フ ロン ² 回以内)	

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
カウントダウンジャンボ アバンティジャンボ カウンスルエナジー ジャンボ	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。	移植直後～ヒ ^レ エ3.5葉期 (但し、移植後30日まで)	1回(トリアフェモン2回以内、 フェンキトリオン2回以内、フェン トラサ ^ミ ト ^ミ 1回)	
カウントダウンフロア ブル アバンティフロアブル カウンスルエナジーフ ロアブル	原液湛水散布、水口 施用又は無人航空機 による滴下	稲1葉期～ヒ ^レ エ3.5葉期 (但し、収穫 90日前ま で)	1回(トリアフェモン2回以内、 フェンキトリオン2回以内、フェン トラサ ^ミ ト ^ミ 1回)	直播水稲
カチボシ1キロ粒剤5 1	田植同時散布機で施 用	移植時	1回(イ ^フ フェンカルバ ^ゾ ン2回 以内、テフルトリオン2回以 内、ヘンスルフロ ^ン メチ ^ル 2回以 内)	
	湛水散布又は無人ヘリ コプターによる散布	移植直後～ヒ ^レ エ2.5葉期 (但し、移植後30日まで)		
ガツントZ200FG	湛水散布、湛水周縁散 布又は無人航空機に よる散布	移植後3日～ノ ^ビ エ3.5 葉期(但し、収穫60日前 まで)	1回(テフルトリオン2回以内、 プロピリスルフロ ^ン 2回以内)	
ガンガン1キロ粒剤	田植同時散布機で施 用	移植時	1回(ヒ ^レ リミスルファン2回以 内、フェノキサスルホ ^ン 2回以内)	
	湛水散布又は無人ヘリコ プターによる散布	移植直後～ヒ ^レ エ3葉期 (但し、移植後30日まで)		
ガンガン豆つぶ250	湛水散布、湛水周縁 散布、水口施用又は 無人ヘリコプターによる散 布	移植後3日～ヒ ^レ エ2.5葉 期(但し、移植後30日まで)	1回(ヒ ^レ リミスルファン2回以 内、フェノキサスルホ ^ン 2回以内)	
ククンジャーZジャン ボ	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。	移植後5日～ヒ ^レ エ3葉期 (但し、移植後30日まで)	1回(ヒ ^レ ラゾレート2回以内、 プロピリスルフロ ^ン 2回以内)	
キマリテ1キロ粒剤	田植同時散布機で施 用	移植時	1回(イ ^フ フェンカルバ ^ゾ ン2回 以内、テフルトリオン2回以 内)	
	湛水散布又は無人航 空機による散布	移植直後～ヒ ^レ エ3葉期 (但し、移植後30日まで)		
キマリテジャンボ	水口施用又は水田に 小包装(パック)のま ま投げ入れる	移植直後～ヒ ^レ エ3葉期 (但し、移植後30日まで)	1回(イ ^フ フェンカルバ ^ゾ ン2回 以内、テフルトリオン2回以 内)	
クサウエポンジャンボ ジャスタジャンボ	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。	移植後1日～ヒ ^レ エ3葉期 (但し、移植後30日まで)	1回(シクロピ ^リ リモレート2回以 内、トリアフェモン2回以内、 ヒ ^レ ラゾレート2回以内)	
クサウエポン1キロ粒 剤 ジャスタ1キロ粒剤	田植同時散布機で施 用	移植時	1回(シクロピ ^リ リモレート2回以 内、トリアフェモン2回以内、 ヒ ^レ ラゾレート2回以内)	
	湛水散布又は無人航 空機による散布	移植直後～ヒ ^レ エ3.5葉期 (但し、移植後30日まで)		
クサトッタ1キロ粒剤 スラッシュ1キロ粒剤	田植同時散布機で施 用	移植時	1回(シ ^メ タトリン2回以内、 ヒ ^レ ラゾレート2回以内、プロモ ブチ ^ド 2回以内、プロレチク ロール2回以内)	
	湛水散布	移植直後～ヒ ^レ エ2葉期 (但し、移植後30日まで)		

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
クミスター1キロ粒剤 51	湛水散布	移植後3日～ヒエ2.5葉期(但し移植後30日まで)	1回(フェニキスルホン2回以内、プロモプチン2回以内、ベンシルフロンメチル2回以内)	
グラスショット液剤	雑草茎葉散布	雑草生育初期(草丈10cm)及び草刈り後10～20日の雑草再生期(但し、収穫前日まで)	3回以内(ヒエスピリハクナトリウム塩3回以内)	水田作物(水田畦畔)
グラスジンMナトリウム粒剤	落水散布	有効分けつ終止期～幼穂形成期前(但し、収穫60日前まで)	1回(MCPA1回、ベンタジン2回以内)	
クリンチャー1キロ粒剤	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	移植後7日～ヒエ4葉期(但し、収穫30日前まで)	2回以内(シロホップブチル3回以内)	使用量 1kg/10a
		移植後25日～ヒエ5葉期(但し、収穫30日前まで)		使用量 1.5kg/10a
		は種後10日～ヒエ3葉期(但し、収穫30日前まで)		直播水稲使用量 1kg/10a
		は種後25日～ヒエ4葉期(但し、収穫30日前まで)		直播水稲使用量 1.5kg/10a
クリンチャーEW	湛水散布又は落水散布	移植後20日～ヒエ6葉期(但し、収穫30日前まで)	2回以内(シロホップブチル3回以内)	
	雑草茎葉散布又は全面散布	は種後10日～ヒエ5葉期(但し、収穫30日前まで)		直播水稲
クリンチャーバスME液剤	落水散布又はごく浅く湛水して散布	移植後15日～ヒエ5葉期(但し、収穫50日前まで)	2回以内(シロホップブチル3回以内、ベンタジン2回以内)	
	乾田・落水状態で雑草茎葉散布又は全面散布	は種後10日～ヒエ5葉期(但し、収穫50日前まで)		直播水稲
ゴエモン1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(イプフェナルバゾン2回以内、イマゾスルホン2回以内、プロモプチン2回以内)	
	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	移植直後～ヒエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)		
コメットジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植後5日～ヒエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)	1回(テフリトリオン2回以内、ピラクロニル2回以内、メタゾスルホン2回以内)	

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
ザーベックスDX1キ ロ粒剤	湛水散布	移植後20～30日(ヒエ 3.5葉期まで)(移植前後 の初期除草剤による土 壌処理との体系で使用)	1回(MCPB2回以内、シロ ホップブチル3回以内、シメト リン2回以内、ベンフルセト2回 以内)	直播水稻
		稲5葉期～ヒエ3.5葉期 まで(但し、収穫60日前 まで(は種後の初期除草 剤による土壌処理との 体系で使用))		
サキガケ楽粒	湛水散布、湛水周縁散 布、水口施用又は無人 航空機による散布	移植直後～ヒエ3葉期 (但し、移植後30日まで)	1回(イフフェカルハゾン2回 以内、テフリルリン2回以 内、フロルピラキシフェンジン ル3回以内)	
サキドリEW	植代時に原液のまま 散布し混和する	植代時(移植7日前まで)	1回(フタクロール2回以内、 ペントキサゾン2回以内)	
	原液湛水散布	植代後～移植前7日又は 移植直後～ヒエ1葉期 (但し、移植後30日ま で)		
	田植同時散布機で施 用	移植時		
サスケーラジカルジャ ンボ	水口施用又は水田に 小包装(パック)のまま 投げ入れる	移植後3日～ヒエ2葉期 (但し、移植後30日ま で)	1回(カフェンストール1回、シク スルファミロン2回以内、ダイム ロン3回以内(但し、育苗箱 散布は1回以内、本田で は2回以内)、ベンゾピシ ロン3回以内)	
サターンバアロ乳剤	乾田・落水状態で全 面土壌散布	は種直後～稲出芽前(ノ ヒエ1葉期まで)(入水15 日前まで)	1回(プロメトリン1回、ベンチオ カーブ2回以内(但し、入 水前は1回以内、入水後 は1回以内)	直播水稻
サラブレットKAI1 キロ粒剤	田植同時散布機で施 用	移植時	1回(イゾスルフロン2回以 内、オキサジクロホン2回以 内、ピラクロニル 2回以内)	
	湛水散布又は無人航 空機による散布	移植直後～ヒエ2.5葉期 (但し、移植後30日ま で)		
サラブレットKAIフ ロアブル	田植同時散布機で施 用	移植時	1回(イゾスルフロン2回以 内、オキサジクロホン2回以 内、ピラクロニル 2回以内)	
	原液湛水散布又は無 人ヘリコプターによる滴 下	移植直後～ヒエ2.5葉期 (但し、移植後30日ま で)		
サラブレットKAI ジャンボ	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。	移植直後～ヒエ2.5葉期 (但し、移植後30日ま で)	1回(イゾスルフロン2回以 内、オキサジクロホン2回以 内、ピラクロニル 2回以内)	
サラブレットGOジャ ンボ	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。	移植直後～ヒエ2.5葉期 (但し、移植後30日まで)	1回(イゾスルフロン2回以 内、オキサジクロホン2回以 内、ピラクロニル 2回以内、 プロモプチト2回以内)	

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
サラブレットGO400FG	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	移植直後～ヒ ^レ エ2.5葉期(但し、移植後30日まで)	1回(イマゾスルホン2回以内、オキサジクロホン2回以内、ピラクロニル2回、プロモプロチド ² 回以内)	
サンパンチ1キロ粒剤 ハイカット1キロ粒剤	湛水散布又は無人航空機による散布	移植後15日～ヒ ^レ エ3.5葉期(但し、収穫60日前まで)	1回(シハロップ ² メチル3回以内、ジメタメリン2回以内、ハロスルホンメチル2回以内、ベンゾビシクロン3回以内)	
シグナス1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(テフリトリオン2回以内、フェントラサ ² ミト ¹ 1回、メタゾスルホン2回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布	移植直後～ヒ ^レ エ3葉期(但し移植後30日まで)		
シグナスジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植後1日～ヒ ^レ エ3葉期(但し、移植後30日まで)	1回(テフリトリオン2回以内、フェントラサ ² ミト ¹ 1回、メタゾスルホン2回以内)	
ジェイフレンドフロアブル	原液湛水散布又は水口施用	移植後5日～ヒ ^レ エ3葉期(但し、移植後30日まで)	1回(オキサジクロホン2回以内、テフリトリオン2回以内、ピラクロニル2回以内)	
ジャイロフロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	1回(イ ² フェンカルバゾ ² ン2回以内、ベンゾビシクロン3回以内、ベンゾフェナップ ² 回以内)	
	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	移植直後～ヒ ^レ エ2.5葉期(但し、移植後30日まで)		
ショキニーフロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	1回(プロモプロチド ² 回以内、ペンチキサ ² ン2回以内)	
	原液湛水散布又は水口施用	移植直後～ヒ ^レ エ1葉期(但し、移植後30日まで)		
シリウスエグザ1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(オキサジクロホン2回以内、ピラクロニル2回以内、ピラゾスルフロンエチル1回、ベンゾビシクロン3回以内)	
	湛水散布	移植直後～ヒ ^レ エ2.5葉期(但し、移植後30日まで)		
シロノックLジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植後3日～ヒ ^レ エ2.5葉期(但し、移植後30日まで)	1回(カフェンストール1回、タイムロン3回以内(但し、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)、ベンズスルホンメチル2回以内、ベンゾビシクロン3回以内)	
シンズイZ1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(オキサジクロホン2回以内、フェキトリオン2回以内、プロピリスルホン2回以内、プロモプロチド ² 回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布	移植直後～ノビエ4葉期(但し、移植後30日まで)		
セカンドショットSジャンボMX	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植後14日～ヒ ^レ エ3.5葉期(但し、収穫45日前まで)	1回(アジメスルホン1回、ペノキスラム2回以内、メトリオン2回以内)	

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
ゼータタイガー1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(プロピリスルホン2回以内、プロモブチン2回以内、ペンタキサン2回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布	移植直後～ヒエ3葉期(但し、移植後30日まで)		
ゼータタイガーフロアブル	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	移植後3日～ヒエ3葉期(但し、移植後30日まで)	1回(プロピリスルホン2回以内、プロモブチン2回以内、ペンタキサン2回以内)	
ゼータプラスジャンボ	水口施用又は水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	移植後3日～ノビエ4葉期(但し、移植後30日まで)	1回(フェキトリオン2回以内、プロピリスルホン2回以内)	
ソルネット1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(プレチアコール2回以内)	
	湛水散布	植代後～移植前7日		
		移植直後～ヒエ1葉期(但し、移植後30日まで)		
ツイゲキ豆つぶ250	湛水散布又は無人航空機による散布	移植後14日(稲5葉期以降)～ヒエ4葉期(但し、収穫60日前まで)	1回(シメリン2回、ヒリスルファン2回、フェキトリオン2回以内)	
ディオール1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(オキサジクロホン2回以内、テフリトリオン2回以内、メタゾスルホン2回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布	移植直後～ヒエ3葉期(但し、移植後30日まで)		
テッケン1キロ粒剤 ニトウリュウ1キロ粒剤	湛水散布又は無人航空機による散布	移植後15日～ヒエ4葉期(但し、収穫60日前まで)	1回(ヘキサスラム2回以内、ベンゾヒシロン3回以内)	
トップガンLフロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	1回(ヒリミノバックメチル2回以内、プロモブチン2回以内、ベンシルフロンメチル2回以内、ペンタキサン2回以内)	
	原液湛水散布	移植直後～ヒエ3葉期(但し、移植後30日まで)		
	原液湛水散布	稲1葉期～ヒエ3葉期(但し、収穫90日前まで)		直播水稻壌土～埴土
	原液湛水散布	稲1.5葉期～ヒエ3葉期(但し、収穫90日前まで)		直播水稻砂壌土
トドメMF1キロ粒剤	湛水散布又は無人航空機による散布	移植後14日～ヒエ5葉期まで(但し、収穫50日前まで)	3回以内(タミホップ3回以内)	
ナイスミドル1キロ粒剤	湛水散布	移植後14日～ヒエ4葉期(但し、収穫60日前まで)	1回(シメリン2回以内、フルセトスルホン2回以内、ベンフレセト2回以内)	

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
ナギナタ豆つぶ250	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	移植直後～ヒ ^レ エ2.5葉期(但し、移植後30日まで)	1回(オキサジクロホン2回以内、ピリミスルファン2回以内、ベンゾピシロン3回以内)	
バイスコープ1キロ粒剤	湛水散布、ごく浅く湛水して散布又は無人航空機による散布	移植後14～60日(但し、収穫45日前まで)	1回(シクロピリメト2回以内、テフリルトロン2回以内)	
バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	落水散布又はごく浅く湛水して散布	移植後15日～収穫45日前まで	1回(ベンタゾン2回以内)	
バサグラン液剤(ナトリウム塩)	落水散布又はごく浅く湛水して散布	移植後15日～収穫45日前まで	2回以内(ベンタゾン2回以内)	直播水稻
	落水散布又はごく浅く湛水して散布	は種後35日～収穫45日前まで		
バスタ液剤	雑草茎葉散布	耕起15日前まで(雑草生育期)	1回(ケルホシネット及びピケルホシネット P1回)	水田作物
	雑草茎葉散布	収穫7日前まで(雑草生育期)	3回以内(ケルホシネット及びピケルホシネット P3回以内)	水田作物(水田畦畔)
バッチリLX1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(イマゾスルホン2回以内、オキサジクロホン2回以内、ピラクロニル 2回以内、プロモフチト2回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布	移植直後～ヒ ^レ エ2.5葉期(但し、移植後30日まで)		
バッチリLXフロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	1回(イマゾスルホン2回以内、オキサジクロホン2回以内、ピラクロニル 2回以内、プロモフチト2回以内)	
	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	移植直後～ヒ ^レ エ2.5葉期(但し、移植後30日まで)		
パデホープ1キロ粒剤	湛水散布	植代後～移植前7日又は移植直後～ヒ ^レ エ1葉期(但し、移植後30日まで)	1回(ケイムロン3回以内(但し、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)、プレチラクロール 2回以内)	
ヒエクリーン1キロ粒剤	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	移植後15日～ヒ ^レ エ4葉期(但し、収穫45日前まで)	1回(ピリミノバックメチル2回以内)	
ヒエクリーンバサグラン粒剤	ごく浅く湛水して散布	移植後15日～ヒ ^レ エ4葉期(但し、収穫60日前まで)	1回(ピリミノバックメチル2回以内、ベンタゾン2回以内)	
ピラクロニル1キロ粒剤 兆1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(ピラクロニル2回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布	植代後～移植7日前又は移植直後～ヒ ^レ エ1.5葉期(但し、移植後30日まで)		

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
ピラクロンフロアブル 兆フロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	1回(ピラクロニル2回以内)	
	原液湛水散布又は水口施用	植代後～移植7日前又は移植直後～ヒエ1.5葉期(但し、移植後30日まで)		
ビンワン1キロ粒剤	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	移植後5日～ヒエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)	1回(オキサジクロホン2回以内、テフリトリオン2回以内、プロモブチン2回以内)	
ビンワンジャンボ	水口施用又は水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	移植後5日～ヒエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)	1回(オキサジクロホン2回以内、テフリトリオン2回以内、プロモブチン2回以内)	
フォローアップ1キロ粒剤 ワイドアタックD1キロ粒剤	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	移植後15日～ヒエ5葉期(稲4葉期以降)(但し、収穫60日前まで)	1回(ヘキサスラム2回以内、ダイムロン3回以内(但し、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内))	
	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	稲3葉期～ヒエ5葉期(但し、収穫60日前まで)	1回(ヘキサスラム2回以内、ダイムロン2回以内)	直播水稲
ブルゼータ1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	2回以内(プロピリスルフォン2回以内、ベンゾビシクロン3回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布	移植直後～ヒエ3葉期(但し、収穫60日前まで)		
フルイニングジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植後5日～ヒエ4葉期(但し、収穫60日前まで)	1回(カフェンストロール1回、カルフェントラゾニエチル2回以内、フルセトスルフォン2回以内、ベンゾビシクロン3回以内)	
フルパワーMX1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(ピラクロニル2回以内、フルセトスルフォン2回以内、メトリオン2回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布	移植直後～ヒエ3.5葉期(但し、収穫60日前まで)		
ベアスフロアブル ベクサーフロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	2回以内(ベンチキサゾール2回以内)	
	原液湛水散布又は水口施用	植代後～移植前7日又は移植直後～ヒエ発生始期(但し、移植後30日まで)		
ベッカクジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植後3日～ヒエ3葉期(但し、移植後30日まで)	1回(ピリミスルファン2回以内、フェニキサスホン2回以内、フェンキトリオン2回以内)	
ベッカク豆つぶ250	湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布	移植後3日～ヒエ3葉期(但し、移植後30日まで)	1回(ピリミスルファン2回以内、フェニキサスホン2回以内、フェンキトリオン2回以内)	
ベンケイ豆つぶ250	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布	移植後3日～ヒエ3葉期(但し移植後30日まで)	1回(ピリミスルファン2回以内、フェニキサスホン2回以内、ベンゾビシクロン3回以内)	
ホットコンビフロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	2回以内(テニクロール2回以内、ベンゾビシクロン3回以内)	
	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	移植直後～ヒエ2葉期(但し、移植後30日まで)		

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
ボデーガード1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(テフリトリオン2回以内、フェントラサミト1回)	
	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	移植直後～ヒ ^レ エ3葉期(但し、移植後30日まで)		
ボデーガードプロフロアブル	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	移植後5日～ヒ ^レ エ3.5葉期(但し、移植後30日まで)	1回(テフリトリオン2回以内、トリアフェモン2回以内)	
マキシーMX 1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(フレチラコール2回以内、メトリオン2回以内)	
	湛水散布	移植直後～ヒ ^レ エ1.5葉期(但し、移植後30日まで)		
マサカリLジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植後5日～ヒ ^レ エ2.5葉期(但し、移植後30日まで)	1回(インダノファン2回以内、クロメプロップ2回以内、ベンスルフロニメチル2回以内)	
メガゼータ1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	2回以内(ヒ ^レ ラクロニル2回以内、プロピリスルフロニ2回以内)	
	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	移植直後～ヒ ^レ エ3葉期(但し、収穫60日前まで)		
メガゼータフロアブル	原液湛水散布、水口施用又は無人ヘリコプターによる滴下	移植後5日～ヒ ^レ エ3葉期(但し、移植後30日まで)	1回(ヒ ^レ ラクロニル2回以内、プロピリスルフロニ2回以内)	
メガゼータジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植後5日～ヒ ^レ エ3葉期(但し、収穫60日前まで)	2回以内(ヒ ^レ ラクロニル2回以内、プロピリスルフロニ2回以内)	
メテオ1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	2回以内(ベントキサゾニ2回以内)	
	湛水散布	植代後～移植前7日又は移植直後～ヒ ^レ エ1葉期(但し、移植後30日まで)		
メテオフロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	2回以内(ベントキサゾニ2回以内)	
	原液湛水散布又は水口施用	植代後～移植前7日又は移植直後～ヒ ^レ エ1葉期(但し、移植後30日まで)		
メテオジャンボ	水口施用又は水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	植代後～移植前7日又は移植直後～ヒ ^レ エ1葉期(但し、移植後30日まで)	1回(ベントキサゾニ2回以内)	
モーレツ1キロ粒剤	湛水散布又は無人航空機による散布	移植後5日～ヒ ^レ エ2.5葉期(但し、移植後30日まで)	1回(ヒ ^レ ラクロニル2回以内、ベンゾビシクロニ3回以内、ベンフレセト2回以内)	
モゲトン粒剤	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	ウキケル類、藻類の発生始～発生盛期(但し、収穫45日前まで)ヒルシロの発生始～増殖始(但し、収穫45日前まで)	3回以内(ACN3回以内)	
モゲトンジャンボ	水田に投げ入れる。	ウキケル類、アオシロ・藻類による表層はく離の発生時(但し、収穫45日前まで)	3回以内(ACN3回以内)	

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
ユニハープフロアブル	植代時に原液のまま散布し混和する	植代時(移植7日前まで)	1回(プレチアコール2回以内、ベンゾフェナップ2回以内)	
	原液湛水散布	植代後～移植7日前まで		
	田植同時散布機で施用	移植時		
	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	移植直後～ヒエ1葉期(但し、移植後30日まで)		
ヨシキタフロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	1回(イゾスルホン2回以内、プロモプシド2回以内、ペントキサゾン2回以内)	
	原液湛水散布	移植直後～ヒエ1.5葉期(但し、移植後30日まで)		
ライジンパワーフロアブル	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	移植後3日～ノビエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)	1回(インダノファン2回以内、ピラクロール2回以内、ベンゾピシクロン3回以内)	
ラウンドアップマックスロード	雑草茎葉散布	耕起前(雑草生育期)	2回以内(グリホサート2回以内)	
ラオウジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植直後～ヒエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)	1回(タムロン3回以内(但し、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)、フェノキサロホン2回以内、フェンキトリオン2回以内、ベンズスルホンメチル2回以内)	
レブラスジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植後14日～ヒエ4葉期(但し、収穫60日前まで)	1回(ジメタトリン2回以内、タムロン3回以内(但し、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)、テフリトリオン2回以内、メタズスルホン2回以内)	
レブラス1キロ粒剤	湛水散布又は無人航空機による散布	移植後14日～ヒエ4葉期(但し、収穫60日前まで)	1回(ジメタトリン2回以内、タムロン3回以内(但し、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)、テフリトリオン2回以内、メタズスルホン2回以内)	
ロイヤント乳剤	落水散布、ごく浅く湛水して散布又は湛水散布	移植後20日～ヒエ5葉期(但し、収穫45日前まで)	2回以内(フロピラウキシフェンベンジル3回以内)	
ワイドアタックSC	落水散布又はごく浅く湛水して散布	移植後20日(稲5葉期以降)～ヒエ6葉期(但し、収穫30日前まで)	2回以内(ヘノキスラム2回以内)	
ワイドショット1キロ粒剤	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	移植後15日～ヒエ4葉期(但し、収穫45日前まで)	1回(テフリトリオン2回以内、ヘノキスラム2回以内)	
ワンオールS1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(シメトリン2回以内、ピラゾキシフェン2回以内、プレチアコール2回以内)	
	湛水散布	移植直後～ヒエ2葉期(但し、移植後30日まで)		

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
銀河ジャンボ	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	移植後5日～ヒエ3葉期(但し、収穫60日前まで)	1回(タムロン3回以内(但し、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)、ピラコロール2回以内、メタゾスルフロン2回以内)	
草笛フロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	1回(クミロン2回以内、ペントキサゾン2回以内)	
	原液湛水散布	植代後～移植前7日又は移植直後～ヒエ1葉期(但し移植後30日まで)		
天空1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(フェントキサミド1回、ペンゾピシクロン3回以内、メタゾスルフロン2回以内)	
	湛水散布又は無人航空機による散布	移植直後～ヒエ3葉期(但し、移植後30日まで)		
農将軍フロアブル	田植同時散布機で施用	移植時	1回(シメタマトリン2回以内、ピリプロチカルブ2回以内、プレチラコロール2回以内)	
	原液湛水散布	植代後～移植7日前又は移植直後～ヒエ1.5葉期(但し、移植後30日まで)		
半蔵1キロ粒剤	田植同時散布機で施用	移植時	1回(シクロスルフアムロン2回以内、ペンゾピシクロン3回以内、ペントキサゾン2回以内)	
	湛水散布	移植直後～ヒエ1.5葉期(但し、移植後30日まで)		
粒状水中MCP	湛水散布(あらかじめ水田の水の出入りを止め、湛水のまま10aあたり所要量を全面に均一散布する)	有効分げつ終止期～幼穂形成期前(但し、収穫60日前まで)	1回(MCPA1回)	
粒状石灰窒素55	散布	水田作物刈取後	1回(石灰窒素1回)	水田作物(水田刈跡)

- 注1) 使用回数の欄の記載は、当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。
- 注2) 水田外への農薬流出防止を図るため、水田への農薬散布後、少なくとも7日間は落水・かけ流しをしない(ここでの落水とは自然に減水することではなく、人為的・強制的に水を払うことを指す)。
- 注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。
- 注4) 施用量や適用土壌により使用方法や使用時期が異なる場合、備考欄に記載した。

1. 止水管理の徹底について

- (1) 水田外への農薬流出防止を図るため、水田への農薬散布後、少なくとも7日間は落水・かけ流しをしない。(ここでの落水とは自然に減水することではなく、人為的・強制的に水を払うことを指す)
- (2) 特に水稻の移植前処理ができる初期剤については農薬ラベルが植代時から移植4日前までとされているものであっても、農薬の河川等への流出を低減するため、使用時期は植代時から移植7日前までとし、移植6日前以降には使用しない。

2. 使用時期の表記の変更について

- (1) 本基準では使用時期を「田植後〇日～ノビエ〇葉期」にほぼ統一した。田植後日数については、代かき後3～4日で田植えがおこなわれる条件で、本県の試験事例などから判断した散布適期であり、下表を目安とする。
- (2) ノビエ〇葉期とある散布時期は最も進んだノビエ葉齢を基準とする(下図参照)。
- (3) 初中期除草剤などでは、使用時期が「ノビエ〇葉期、ただし、移植後30日まで」というものがある。「移植後30日」は使用時期の晩限として作物残留試験などによって決められ、この日数は除草効果を保証するものではない。あくまでノビエ〇葉期が除草効果の上では指標となる。また、移植後30日がノビエの〇葉期より前となれば、移植後30日を優先して処理する。
- (4) 田植同時処理については農薬ラベルの使用時期に「移植時」、使用方法に「田植同時散布機で使用」と記載されている剤のみが使用できる。

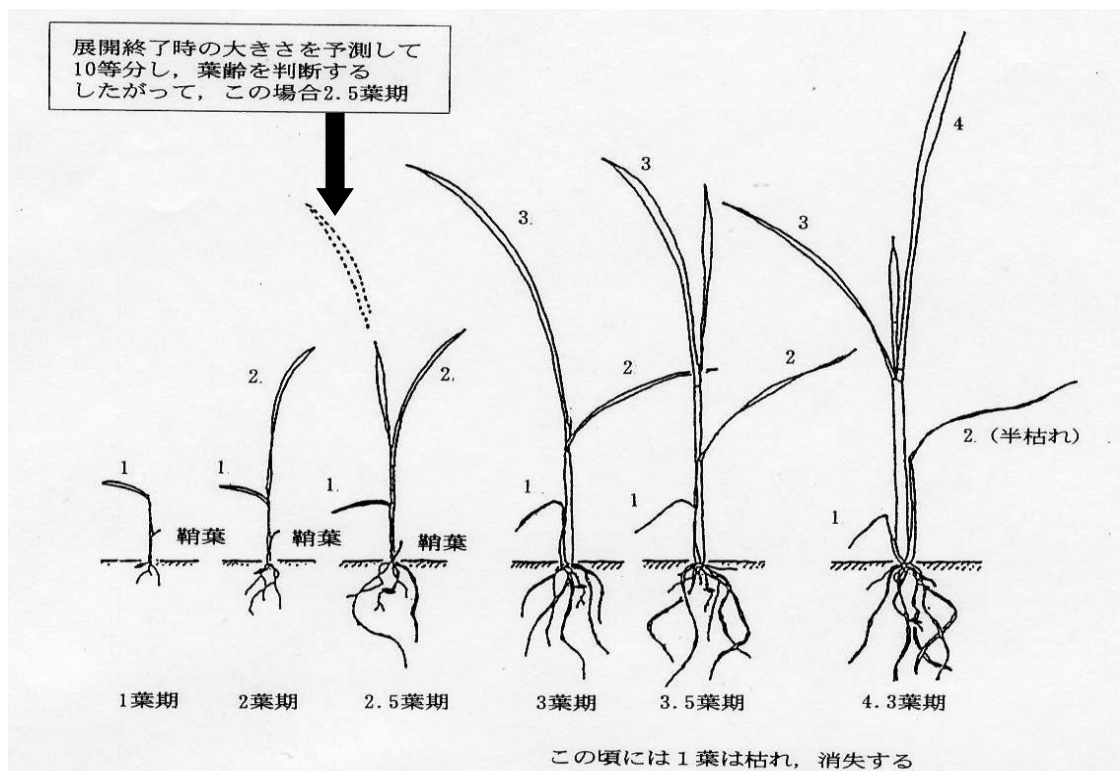
【参考1】ノビエの葉齢と田植え後日数の目安

ノビエの葉齢	1葉	1.5葉	2葉	2.5葉	3葉
田植え後の日数	5日	7日	10日	12日	15日

注) 植え代かきから3～4日で田植えを想定、代かきから田植えの期間や気象条件で変動する。

【参考2】ノビエの葉齢の数え方

【稲と異なり不完全葉がなく、水面から出る頃には2葉期を過ぎているので観察が重要】



(1) 移植栽培(本田)

ア 除草体系

対象雑草	初期除草剤	初中期除草剤	中期除草剤	中・後期除草剤
<p>ノビエ 一年生雑草 マツバイ ウリカワ 多発田</p>	<p>初期除草剤 (田植前後処理)</p>	<p>中期除草剤 (茎葉兼土壌処理)</p>	<p>ヒエが残った場合</p>	<p>クリンチャーEW クリンチャー1k粒 ヒエクリーン1k粒 トドメMF1k粒</p>
<p>ホタルイ ミズガヤツリ 多発田</p>	<p>エリジャン乳・JB サキドリEW ショキニーFL ソルネット1k粒 パデホープ1k粒 草笛FL 農将軍FL ユニハーブFL ピラクロン1k粒・FL 兆1k粒・FL メテオ1k粒・FL・JB サラブレットG O400FG ラオウJB カイリキZFL オンオキMX1k粒</p>	<p>初中期除草剤 (茎葉兼土壌処理)</p>	<p>ヒエに加えて、一年生雑草、マツバイ、ウリカワ、ホタルイ、ミズガヤツリなどの残草があった場合</p>	<p>クリンチャーバスME液 グラスジンMナトリウム粒 バサグラン粒・液 ヒエクリーンバサグラン粒 ワイドアタックSC フォローアップ1k粒 ワイドアタックD1k粒 粒状水中MCP MCPソーダ塩 テッケン1k粒・ニトウリュウ1k粒 セカンドショットSJB MX レブラスJB ウィードコア1kg粒 バイスコープ1kg粒(ノビエ除く) ロイヤント乳 ツイゲキ豆つぶ250</p>
		<p>初中期除草剤</p>		
	<p>補足 1. 初期剤、初中期剤及び中期剤(ヒエクリーン1k粒、ヒエクリーンバサグラン粒(各剤使用回数1回)を除く)はすべての剤が適用できる。 2. 「(イ) 除草剤の使用方法」参照(以下同様)。 3. FL(フロアブル)、JB(ジャンボ剤)、粒(粒剤)、1k粒(1キロ粒剤)、液(液剤)、乳(乳剤)の略(以下同様)。 4. 普及に移された順に掲載(以下同様)。</p>			
		<p>初中期除草剤 ライジンパワーFL</p>		

対象雑草	初期除草剤	初中期除草剤	中期除草剤	中・後期除草剤
オモダカ 多発田	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 初期除草剤 (田植前後処理) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ザーベックスDX 1k 粒 サンパンチ 1k 粒・ハイカット 1k 粒 ナイスミドル 1k 粒 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> グラスジンMナ トリウム粒 </div>
	初中期除草剤			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> バサグラン 粒・液 </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ノビエ 1.5 葉期剤 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ノビエ 2.5 葉期剤 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ノビエ 3～4 葉期剤 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ワイドアタック SC </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 半蔵 1k 粒 ヨシキタ FL </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> コメット JB ナギナタ豆つぶ 250 カチボシ 1k 粒 51 サラブレッドKA I JB シリウスエグザ 1k 粒 バッチリ L X 1k 粒 アールタイプ 1k 粒 シュナイデン 1k 粒 クミスター 1k 粒 51 ビンワン 1k 粒 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> トップガン L FL メガゼータ 1k 粒・FL・ JB 銀河 JB ガンガン 1k 粒・豆つぶ 250 ベンケイ豆つぶ 250 フルパワーMX 1k 粒 ボデーガード 1k 粒 アクシズMX 1k 粒 キマリテ 1k 粒 天空 1k 粒 シグナス 1k 粒・JB ジェイフレンド FL ゼータタイガー FL アシュラ FL カウントダウン JB アバンティ JB カウンシルエナジー JB エンペラー豆つぶ 250 アットウ Z 1kg 粒 カイリキ Z JB ディオーレ 1kg 粒 シンズイ Z 1kg 粒 ガツント Z 200FG ベッカク JB・豆つぶ 250 クサウエボン JB ジャスタ JB クサウエボン 1kg 粒 ジャスタ 1kg 粒 サキガケ薬粒 イネリーグ FL ゼータプラス JB </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> フォローアップ 1k 粒 ワイドアタック D1k 粒 粒状水中MCP MCPソーダ塩 アトトリ 1k 粒 テッケン 1k 粒・ニトウリュ ウ 1k 粒 セカンドショッ トS J BMX レプラス 1k 粒・JB ワイドショット 1k 粒 ロイヤント乳 </div>	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 補足 1. 初期剤はすべての剤が適用できる。 </div>				

対象雑草	初期除草剤	初中期除草剤	中期除草剤	中・後期除草剤
クログワイ 多発田	ショキニーFL サキドリEW 草箱FL		ザーベックスDX1k粒 サンパンチ 1k粒・ハイカット 1k粒 ナイスミドル 1k粒	グラスジンMナ トリウム粒 バサグラン 粒・液 ワイドアタック SC フォローアップ 1k粒 ワイドアタック D1k粒 粒状水中MCP MCPソーダ塩 アトトリ 1k 粒・豆つぶ 250 テッケン 1k 粒・ニトウリュ ウ 1k粒 レプラス 1k粒・ JB
	初中期除草剤			
	ノビエ 1.5 葉期剤	ノビエ 2.5 葉期剤	ノビエ 3~4 葉期剤	
半蔵 1k粒 ヨシキタ FL	シリウスエグザ 1k粒 コメット JB ナギナタ豆つぶ 250 カチボシ 1k粒 51 サラブレッドK A I JB バッチリ L X 1k粒・FL アールタイプ 1k粒 シュナイデン 1k粒 クミスター 1k粒 51 ビンワン 1k粒 ジャイロ FL	トップガン LFL メガゼータ 1k粒・FL・ JB キクンジャー Z JB 銀河 JB ガンガン 1k粒 ベンケイ豆つぶ 250 ブルゼータ 1k粒 アクシズMX 1k粒 ボデーガード 1k粒 ゼータタイガー 1k粒 アッパレ Z JB キマリテ 1k粒 天空 1k粒 シグナス 1k粒・JB アシュラ FL カウントダウン JB アバンティ JB カウンシルエナジー JB エンペラー豆つぶ 250 アットウ Z 1kg粒 ゼータプラス JB カイリキ Z JB ディオーレ 1kg粒 シンズイ Z 1kg粒 ガツント Z 200FG ベッカク JB・豆つぶ 250 クサウエボン JB ジャスタ JB クサウエボン 1kg粒 ジャスタ 1k粒 サキガケ薬粒		

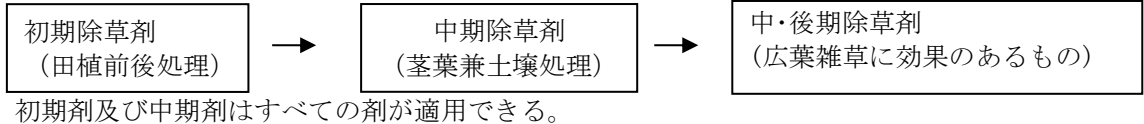
対象雑草	初期除草剤	初中期除草剤	中期除草剤				
アメリカセン ダンゴサ タウコギ(ク サネム) 多発田	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> エリジャン乳 ソルネット 1k 粒 パデホープ 1k 粒 農将軍 FL </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 初中期除草剤 (茎葉兼土壌処理) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> クリンチャーバス ME 液 グラスジン M ナトリ ウム粒 バサグラン粒・液 ワイドアタックSC 粒状水中MCP MCP ソーダ塩 </div>				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 初中期除草剤 </div>						
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 補足 1. 初中期剤および中期剤はすべての剤が適用できる。 2. 本田の漏水を防止、水持ちを良くする、代かきを丁寧に行い田面を平均にする。 3. 畦畔除草を徹底することで除草効果が著しく向上する。 </div>						
雑草イネ 発生田	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> アルハーブ FL エリジャン乳・JB マキシ- MX1k 粒 農将軍 FL メテオ FL </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ワンオール S 1k 粒 エーワン 1k 粒 ボデーガード 1k 粒 クミスター 1k 粒 51 モーレツ 1k 粒 キマリテ 1k 粒 シンズイ Z 1kg 粒 ライジンパワー FL サラブレッド G O JB サラブレッド G O 400FG アカツキ 1k 粒 ベッカク JB・豆つぶ 250 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ザーベックス D X 1k 粒 ナイスミドル 1k 粒 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <水稲刈り取り後> 粒状石灰窒素 5 5 </div> </div>				
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 補足 1. 雑草イネの発消長に合わせ 7～10 日間隔で 3 回の体系処理を行う。 2. 特に初期の防除効果が、体系防除全体の効果を左右するので、丁寧な代かきと併せて、適期の初期剤散布を徹底する。 3. 平成 25 年度普及技術「雑草イネ総合防除対策マニュアル」を参照する。 4. 粒状石灰窒素 5 5 は土壌表面の雑草イネを死滅させる効果がある。詳細な使用法は、平成 30 年度普及技術を参照する。 </div>						
シズイ 多発田	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 初中期剤 ※シズイ最高草丈 3 cm 期 シリウスエグザ 1k 粒 メガゼータ 1k 粒・FL ブルゼータ 1k 粒 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 中期剤 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">シズイ最高草丈 10 cm 期</th> <th style="width: 50%;">シズイ最高草丈 25 cm 期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アトトリ豆つぶ 250</td> <td>アトトリ 1k 粒</td> </tr> </tbody> </table> </div>		シズイ最高草丈 10 cm 期	シズイ最高草丈 25 cm 期	アトトリ豆つぶ 250	アトトリ 1k 粒
シズイ最高草丈 10 cm 期	シズイ最高草丈 25 cm 期						
アトトリ豆つぶ 250	アトトリ 1k 粒						
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 補足 1. シズイに適用のある除草剤の 2 剤による体系防除を行う。 2. シズイの草丈に留意し、草丈が低いうちに効果のある除草剤を処理する。 3. ※図中のシズイ草丈は県内での試験成績で効果が確認されている値を目安として示している。 </div>						

1 スルホニルウレア系除草剤抵抗性雑草とは

スルホニルウレア系除草剤(SU剤)とは、イマズスルフロン、シクロスルファミロン、ハロスルフロンメチル、ピラズスルフロンエチル、ベンスルフロンメチル、アジムスルフロン、フルセトスルフロン等の成分を含有する剤で、広葉雑草に幅広い除草効果をもつ。これら除草剤成分の連年使用により、除草剤抵抗性を持った個体が残存してしまうことがある。本県で平成24年までに確認されている抵抗性雑草はホタルイ、コナギ、アゼナ、ミゾハコベ、キカシグサ、オモダカである。

2 スルホニルウレア系除草剤抵抗性雑草が発生した場合の対策

① 初期除草剤→中期除草剤の体系処理を基本とし、場合によっては中・後期除草剤の追加防除も行う。



② 非SU剤である初中期除草剤の利用

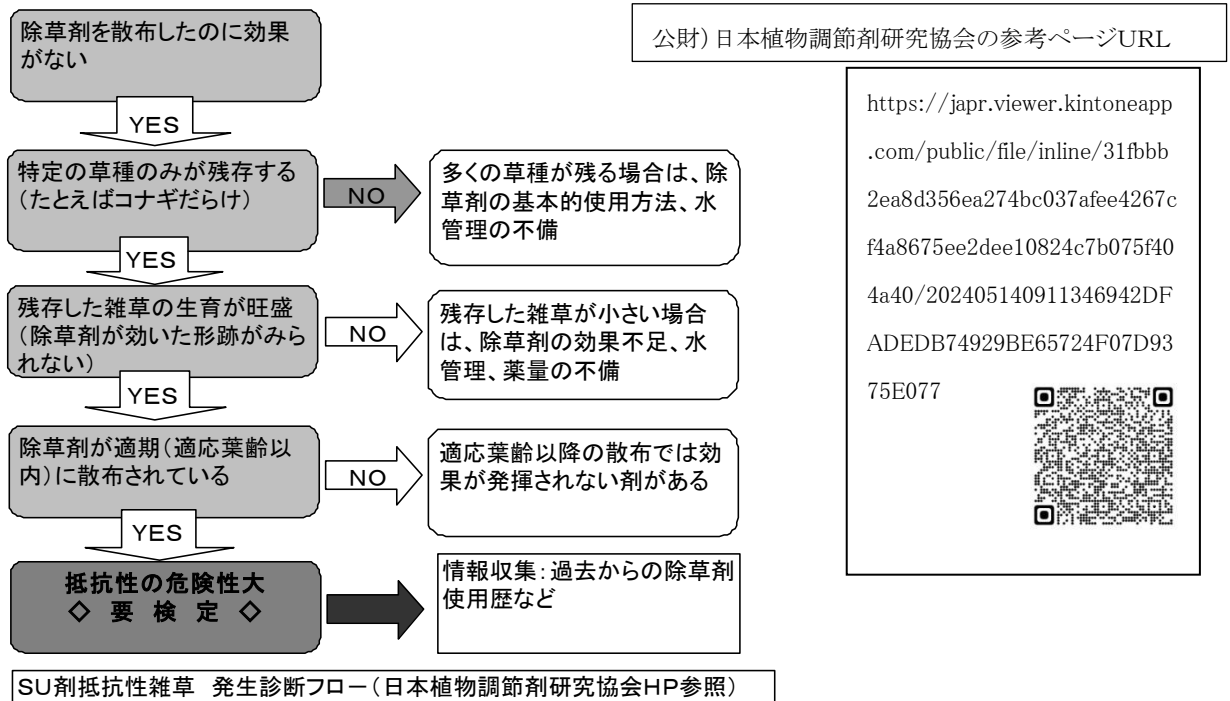
イマズスルフロン、シクロスルファミロン、ハロスルフロンメチル、ピラズスルフロンエチル、ベンスルフロンメチル、アジムスルフロン、フルセトスルフロン等の成分を含有しない剤

③ SU剤を含むが、抵抗性雑草に有効な成分を含む初中期除草剤の利用

抵抗性雑草に有効な成分は、クロメプロップ、シメトリン、プレチラクロール、ブロモブチド、ベンゾフェナップ、ベンゾビシクロン、フェントラザミド、ピラクロニル、テフリトリオン、メソトリオン、カルフェントラゾンエチル等である(イ 除草剤の使用法の除草剤の成分を参照)。これら成分を含む初中期除草剤を使用するが、処理時期が遅れると効果が劣る。

※ 同一成分の連用により抵抗性雑草でなくとも特定の草種が残存する場合があるので、適当な剤のローテーションまたは体系処理を行う。

※ 現地での抵抗性判断は難しいが、下図のチャートによっておよその判定が可能である。



防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	田植え同時	一年生		多年生							雑草イネ	藻類・表層剥離	注意事項		
			ノビエ	その他	マツバイ	ホタルイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	オモダカ	クログワイ	セリ				ヒルムシロ	シズイ
移植直後～ノビエ1葉期まで(但し、移植後30日まで)																
	シヨキニーフロアブル (プロモバチト 18% ペントキサゾン 4%) 500ml	可	◎	◎	◎	◎	○	-	-	◎	-	-	-	-	1. クログワイ主体田では、加えてクログワイに効果のある中期剤との体系処理を行う。 2. 水口施用が可能である。	
	ソルネット1キロ粒剤 (プレチラロール 4%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	1. 砂壤土～埴土で使用する。	
植代後～移植前7日又は移植直後～ノビエ1.5葉期(但し、移植後30日まで)																
	ピラクロン1キロ粒剤 兆1キロ粒剤 (ピラクロニル 1.8%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	-	○	○	○	-	○	-	-		
	ピラクロンフロアブル 兆フロアブル (ピラクロニル 3.6%) 500ml	可	◎	◎	◎	◎	-	○	○	○	-	○	-	-		
	農将軍フロアブル (ジメタメトリン 0.5% ピリプチカルブ 10% プレチラロール 5%) 500ml	可	◎	◎	◎	○	-	-	-	-	-	-	-	◎	○	1. 雑草イネの発生前での使用が有効である。初中期剤、中期剤との体系防除を行う。
上記の他に利用できる除草剤																
ノビエ1葉期まで(但し、移植後30日まで)に使用する除草剤 パデホープ1キロ粒剤、ユニハーブフロアブル ※これらについての使用時期、使用方法はⅧ除草剤 1. 水稻の除草剤一覧を参照すること。ユニハーブフロアブルは魚毒に注意する。																

使用上の留意事項（初期除草剤全体）

1. 水田外への除草剤成分の流出を抑えるため、移植前処理ができる除草剤は植代時から移植7日前までとし、移植6日前以降には使用しない。
2. 砂壤土において移植前使用の初期除草剤を処理し、7日の期間において移植した場合、転び苗等によって移植精度が低下し、後処理する除草剤により薬害が生ずることがある。このため、後処理する除草剤の使用にあたっては、植え穴への土の戻りと根の露出がないことを確認する。
3. 多年生雑草には効果が劣るので、原則として中期除草剤との体系で使用する。
4. 植代時散布は、代かき後水の濁っているうちに散布幅10mで5～6歩進む毎にピンを振って散布し、土壌と混和させる。整地（エブリ）は散布直後に行う。
5. 植代時に処理できる乳剤やフロアブル剤はトラクター装着した滴下式散布機（フロアブル剤散布機）により代かき同時散布ができる。
 - (1) 開度目盛りは剤によって異なるので注意する。
 - (2) 浅水ではムラ散となり、薬害が発生したり効果が落ちるので、湛水深を3cm以上にして代かきをする。
6. 田植え同時処理できる除草剤は、田植え同時除草剤散布機（粒剤用）または滴下式散布機（フロアブル・乳剤用）を用いて散布する。
7. 除草剤の流出を防ぎ効果を高めるため、処理後は止水とし落水は行わない。
8. フロアブル剤は幅30m以内の水田では畦畔からの散布ができる。その場合は、散布幅3～6mで5～6歩進む毎にピンを大きく振って水田内に薬剤を振り入れるようにする。
9. フロアブル剤は風の強いときは、風上2/3、風下1/3程度と風下を少な目に散布する。
10. 散布時に地面の露出や浮遊物がある場合は、薬剤が拡散できず、効果が劣り薬害が発生する可能性がある。
11. 水口施用する場合、入水時に薬剤を水口付近にあけて、流水とともに水田全面に拡散させる。その後、田面水の湛水深が4～5cmになったら水を止める。その後7日間入水、掛け流しをしない。
12. 漏水田や不良苗、田植後植え穴に土が戻らず根が露出した状態であると薬害が発生しやすい。
13. 移植前処理ができる除草剤を散布した場合、田植えは散布後7日以上経過してから行い、田植後しばらくは苗が水没しないように浅水管理とする。
14. 少量散布の場合、雑草が多い水田や、代かきから田植までの期間が長い場合は、効果が劣ることがある。

2) 初中期除草剤

区分：初中期除草剤、使用方法：湛水散布

可は使用可能を表す。◎○△は適用草種、－は適用外を示し、試験場試験により◎は効果が確認されたもの、△は効果が不十分であったもの、○は効果が未評価のものを表す。

防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	田 植 え 同 時	一年生		多年生								雑 草 イ ネ	藻 類 ・ 表 層 剥 離	注意事項	
			ノ ビ エ	そ の 他	マ ツ バ イ	ホ タ ル イ	ミ ズ ガ ヤ ツ リ	ウ リ カ ワ	オ モ ダ カ	ク ロ グ ワ イ	セ リ	ヒ ル ム シ ロ				シ ズ イ
移植直後～ノビエ1.5葉期(但し、移植後30日まで)																
	マキシ-MX 1 キロ粒剤 (プレチラコール4.2% メソトリオン 0.60%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	◎	-	◎	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。 2. 雑草イネの発生前～発生始(鞘葉抽出期)での使用が有効である。初期剤、中期剤との体系防除を行う。
移植直後～ノビエ2葉期(ただし、移植後30日まで)																
	ホットコンビフロアブル (テニクロール 4.0% ベンゾビシクロン 4.0%) 500ml	可	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	○	-	-	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。
移植後3日～ノビエ2葉期(但し、移植後30日まで)																
	サスケ-ラジカルジャンボ (カフェストロール10.5% シクロスルファミロ ン2.25% タイムロン22.5% ベンゾビシ クロン10%) 小包装パック10個(200g)		◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	-	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。
上記の他に利用できる除草剤																
ノビエ1.5葉期まで(但し、移植後30日まで)に使用する除草剤 ヨシキタフロアブル、半蔵1キロ粒剤 ノビエ2葉期まで(但し、移植後30日まで)に使用する除草剤 クサトッタ1キロ粒剤・スラッシュ1キロ粒 剤、ワンオールS1キロ粒剤 ※これらについての使用時期、使用方法はⅧ除草剤 1. 水稲 の除草剤一覧を参照すること。																
一部の多収米等品種に関する薬害について																
1. 除草剤成分のメソトリオン、ベンゾビシクロン、テフリルトリオン含有剤は一部の多収水稲品種(「モミロマン」、「タカナリ」等)に薬害を起こす危険がある(平成22年農林水産省プレスリリース参照)。また、本県育成の多収性専用品種「ふくおこし」、「ほそおもて」に対して薬害(白化～枯死)を生じることがある。																
移植直後～ノビエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)																
	アールタイプ1キロ粒剤 シュナイデン1キロ粒剤 (ヒラゾレート10.0% ベンゾビシクロン 2.0% メタゾスルフロン0.6%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	-	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。

防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	田 植 え 同 時	一年生		多年生								雑 草 イ ネ	藻 類 ・ 表 層 剥 離	注意事項	
			ノ ビ エ	そ の 他	マ ツ バ イ	ホ タ ル イ	ミ ズ ガ ヤ ツ リ	ウ リ カ ワ	オ モ ダ カ	ク ロ グ ワ イ	セ リ	ヒ ル ム シ ロ				シ ズ イ
移植直後～ノビエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)																
	イネキング1キロ粒剤 (ビラクロニル2% ビラゾレート10% ヘンゾビシクロン2%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	-	○	-	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。
	イノーバDXアップ1キロ粒剤51 (フェントキサミド3% ヘンスルフロメチル0.51% ダイムロン4.5% プロモブチド9%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	-	○	
	カチボシ1キロ粒剤51 (イプフェカルバゾン2.5% テフリルトリオン2.0% ヘンスルフロメチル0.51%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
	ゴエモン1キロ粒剤 (イプフェカルバゾン2.5% イマゾスルフロロン0.9% プロモブチド9.0%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	サラブレットKAI1キロ粒剤 (イマゾスルフロロン0.9% オキサジクロメホン0.4% ビラクロニル2.0%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	サラブレットKAIフロアブル (イマゾスルフロロン1.7% オキサジクロメホン0.57% ビラクロニル3.8%) 500ml	可	◎	◎	◎	◎	○	○	△	△	○	○	-	○	○	
	サラブレットKAIジャンボ (イマゾスルフロロン2.25% オキサジクロメホン0.75% ビラクロニル5.0%) 小包装(パック)10個(400g)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	-	-	-	-	
	サラブレットGO400FG (イマゾスルフロロン2.25% オキサジクロメホン1.5% ビラクロニル2.5% プロモブチド22.5%) 400g		◎	◎	○	◎	○	○	△	△	○	○		◎	○	
	ジャイロフロアブル (イプフェカルバゾン4.5% ヘンゾビシクロン5.4% ヘンゾフェナップ14.3%) 500ml	可	◎	◎	◎	◎	○	○	△	○	○	○	-	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	

防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	田 植 え 同 時	一年生		多年生								雑 草 イ ネ	藻 類 ・ 表 層 剥 離	注意事項	
			ノ ビ エ	そ の 他	マ ツ バ イ	ホ タ ル イ	ミ ズ ガ ヤ ツ リ	ウ リ カ ワ	オ モ ダ カ	ク ロ グ ワ イ	セ リ	ヒ ル ム シ ロ				シ ズ イ
移植直後～ノビエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)																
	ナギナタ豆つぶ250 (オキサジクロホン1.6% ピリミスルファン 2.2% ベンゾビシクロン12.0%) 205g		◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	-	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。
	バッチリLX1キロ粒剤 (イマゾスルホン0.90% オキサジクロホン 0.40% ピラクロニル2.0% プロモプチ ド9.0%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	○		○	
	バッチリLXフロアブル (イマゾスルホン1.7% オキサジクロホン 0.56% ピラクロニル3.7% プロモプチ ド16.3%) 500ml	可	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○		-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。
	ラオウジャンボ (タイムロン24% フェニキサスホン6.0% フェンキトリオン10.0% ベンズスルホンメチ ル3.0%) 小包装(パック)10個 (250g)		◎	◎	○	◎	○	○	△	○	○	○			○	
移植後3日～ノビエ2.5葉期(但し、移植後30日まで)																
	ガンガン豆つぶ250 (ピリミスルファン2.0% フェニキサスホン 8.0%) 250g		◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○	○	○		○	1. 魚類に影響を及ぼすので養魚田では使用しないこと。
	クミスター1キロ粒剤51 (フェニキサスホン2.0% プロモプチ ド9.0% ベンズスルホンメチル0.51%) 1kg		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	◎	○	1. オモダカ、クログワイには発生始処理で効果が高い。 2. 雑草イネの発生前～発生始(鞘葉抽出期)での使用が有効である。初期剤、中期剤との体系防除を行う。
	シリウスエグザ1キロ粒剤 (オキサジクロホン0.4% ピラクロニル 2.0% ピラゾスルホンエチル0.3% ベン ゾビシクロン2.0%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。 2. シズイに対しては体系処理の1剤として使用する。
	シロノックLジャンボ (カフェストロール7.1% ベンズスルホンメチ ル1.5% タイムロン14.3% ベンゾビシ クロン5.7%) 小包装(パック)10個(350g)		◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	-		○	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。
	ライジンパワーフロアブル (インダノファン2.3% ピラクロニル 2.9% ベンゾビシクロン5.7%) 500ml		◎	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	-	◎	-	1. 雑草イネの発生前～発生始(鞘葉抽出期)での使用が有効である。初期剤、中期剤との体系防除を行う。

防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	田 植 え 同 時	一年生		多年生								雑 草 イ ネ	藻 類 ・ 表 層 剥 離	注意事項	
			ノ ビ エ	そ の 他	マ ツ バ イ	ホ タ ル イ	ミ ズ ガ ヤ ツ リ	ウ リ カ ワ	オ モ ダ カ	ク ロ グ ワ イ	セ リ	ヒ ル ム シ ロ				シ ズ イ
移植後5日～ノビエ2.5葉期（但し、移植後30日まで）																
	コメントジャンボ (テフルトリオン6.7% ピラクロコル6.6% メタゾスルフロン2.0%) 小包装(パック)10個 (300g)		◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	-	1.一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
	ビンワン1キロ粒剤 (オキサジクロホロン0.8% テフルトリオン 3.0% プロモプチド9.0%) 1kg		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	-	1.一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
	ビンワンジャンボ (オキサジクロホロン1.2% テフルトリオン 6.0% プロモプチド18.0%) 小包装(パック)10個 (500g)		◎	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	-	-		
上記の他に利用できる除草剤																
ノビエ2.5葉期まで(但し、移植後30日まで)に使用する除草剤 マサカリLジャンボ、モーレツ1キロ粒剤 ノビエ2.5葉期まで(但し、収穫45日前まで)に使用する除草剤 エーワン1キロ粒剤 ※これらについての使用時期、使用方法はⅧ除草剤 1. 水稲 の除草剤一覧を参照すること。モーレツ1キロ粒剤は魚毒に注意する。																
移植直後～ノビエ3葉期（但し、移植後30日まで）																
	イネリーグフロアブル (クロメクロップ8.5% テフルトリオン5.7% フェントラサミド5.7%) 500ml		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	-	1.一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
	カウントダウンジャンボ アバンティジャンボ カウンスルエナジージャンボ (トリアフェモン1.2% フェンキトリオン7.5% フェントラサミド7.5%) 小包装(パック)10個(400g)		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	-		
	ガンガン1キロ粒剤 (ピリミスルフロン0.5% フェノキサスホン 2.0%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	1.魚類に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。	
	キマリテ1キロ粒剤 (イプフェンカルバゾン2.5% テフルトリオン 3.0%) 1kg	可	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	1.一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。 2.雑草イネの発生前での使用が有効である。初期剤、中期剤との体系防除を行う。	
	キマリテジャンボ (イプフェンカルバゾン8.3% テフルトリオン 10.0%) 小包装(パック)10個(300g)		◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	-	1.一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	

防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	田 植 え 同 時	一年生		多年生								雑 草 イ ネ	藻 類 ・ 表 層 剥 離	注意事項		
			ノ ビ エ	そ の 他	マ ツ バ イ	ホ タ ル イ	ミ ズ ガ ヤ ツ リ	ウ リ カ ワ	オ モ ダ カ	ク ロ グ ワ イ	セ リ	ヒ ル ム シ ロ				シ ズ イ	
移植直後～ノビエ3葉期（但し、移植後30日まで）																	
	サキガケ楽粒 (イ ^o フェンカルハ ^o ゾン10.0% テ ^o フリルトリ オン12.0% フ ^o ルビ ^o ラウキシ ^o フェン ^o ベン ^o ジ ^o ル 2.0%) 250g		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。
	シグナス1キロ粒剤 (テ ^o フリルトリオン2.0% フェ ^o トラサ ^o ミ ^o ト ^o 3.0% メ ^o タゾ ^o ス ^o ル ^o フ ^o ロン0.6%) 1kg	可	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。 2. ホタルイは発生前処理で効果が高い。
	ゼータタイガー1キロ粒剤 (フ ^o ロビ ^o リス ^o ル ^o フ ^o ロン0.90% フ ^o ロモ ^o ブ ^o チ ト ^o 9.0% ヘ ^o ントキ ^o サ ^o ゾ ^o ン2.0%) 1kg	可	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	
	デオレー1キロ粒剤 (メ ^o タゾ ^o ス ^o ル ^o フ ^o ロン1.0% テ ^o フリルトリオン 2.0% オ ^o キサ ^o ジ ^o クロ ^o メ ^o ホ ^o ン0.4%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	-	-	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。
	天空1キロ粒剤 (フェ ^o トラサ ^o ミ ^o ト ^o 3.0% ヘ ^o ンゾ ^o ビ ^o シ ^o ク ロン3.0% メ ^o タゾ ^o ス ^o ル ^o フ ^o ロン0.60%) 1kg	可	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。 2. ホタルイは発生前処理で効果が高い。
上記の他に利用できる除草剤																	
ノビエ3葉期まで(但し、移植後30日まで)に使用する除草剤 トップガンLフロアブル、ボデーガード1キロ粒剤 ※これらについての使用時期、使用方法はⅧ除草剤 1. 水稻 の除草剤一覧を参照すること。																	
移植直後～ノビエ3葉期（但し、収穫後60日まで）																	
	エンペラー豆つぶ250 (ヒ ^o ラクロ ^o ニ ^o ル8.0% ヒ ^o リ ^o ミ ^o ノ ^o バ ^o ク ^o メ ^o チ ^o ル 3.0% フェ ^o ンキ ^o トリ ^o オン12.0%) 250g		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	
	ブルゼータ1キロ粒剤 (フ ^o ロビ ^o リス ^o ル ^o フ ^o ロン0.9% ヘ ^o ンゾ ^o ビ ^o シ ^o ク ロン2.0%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。 2. シズイに対しては体系処理の1剤として使用する。
	メガゼータ1キロ粒剤 (ヒ ^o ラクロ ^o ニ ^o ル2.0% フ ^o ロビ ^o リス ^o ル ^o フ ^o ロン 0.9%) 1kg	可	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	
移植直後～ノビエ4葉期（但し、収穫60日前まで）																	
	アットウZ1キロ粒剤 (テ ^o フリルトリオン2.0% ヒ ^o ラクロ ^o ニ ^o ル2.0% フ ^o ロビ ^o リス ^o ル ^o フ ^o ロン0.9%) 1kg	可	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	-	-	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。

防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	田 植 え 同 時	一年生		多年生								雑 草 イ ネ	藻 類 ・ 表 層 剥 離	注意事項	
			ノ ビ エ	そ の 他	マ ツ バ イ	ホ タ ル イ	ミ ズ ガ ヤ ツ リ	ウ リ カ ワ	オ モ ダ カ	ク ロ グ ワ イ	セ リ	ヒ ル ム シ ロ				シ ズ イ
移植後1日～ノビエ3葉期（但し、移植後30日まで）																
	クサウエポンジャンボ ジャスタジャンボ (シクロピリモレート7.5% トリアフェモン 1.2% ピラゾレート15.0%) 小包装(パック) 10個 (400g)		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	-		
	シグナスジャンボ (テフルトリオン6.7%フェントキサミド 10.0% メタゾスルフロン2.0%) 小包装(パック) 10個 (300g)		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
移植後3日～ノビエ3葉期（但し、移植後30日まで）																
	アップレZジャンボ (ピラクロニル5.0%プロピリスルフロン 2.25% プロモプチド22.5%) 小包装(パック) 10個 (400g)		◎	◎	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○		
	アピログロウMXジャンボ ロータスMXジャンボ (ピラゾスルフロンエチル0.75% ピリフアリ ト3.75% プレチラコール11.25% メ トリオン2.25%) 小包装(パック) 10個 (400g)		◎	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	-	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
	カイリキZフロアブル (イフェカルバゾン4.8% テフルトリオ ン4.8% プロピリスルフロン1.75%) 500ml		◎	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	-	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
	カイリキZジャンボ (イフェカルバゾン8.3% テフルトリオ ン8.3% プロピリスルフロン3.0%) 小包装(パック) 10個 (300g)		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
	ゼータタイガーフロアブル (プロピリスルフロン 1.7% プロモプチ ド16.8% ベントキサゾン3.7%) 500ml		◎	◎	○	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○		
	ベッカクジャンボ (ピリミスファン2.0% フェノキサホル 6.0% フェンキトリオン12.0%) 小包装(パック) 10個 (250g)		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	◎	○	1. 雑草イネの発生前～発生始(鞘葉抽出期)での使用が有効である。初期剤、中期剤との体系防除を行う。

防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	田 植 え 同 時	一年生		多年生								雑 草 イ ネ	藻 類 ・ 表 層 剥 離	注意事項	
			ノ ビ エ	そ の 他	マ ツ バ イ	ホ タ ル イ	ミ ズ ガ ヤ ツ リ	ウ リ カ ワ	オ モ ダ カ	ク ロ グ ワ イ	セ リ	ヒ ル ム シ ロ				シ ズ イ
移植後3日～ノビエ3葉期（但し、移植後30日まで）																
	ベッカク豆つぶ250 (ビ°リスルファン 2.0% フェノキサルフ ン6.0% フェンキトリオン 12.0%) 250g		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	◎	○	1. 雑草イネの発生前～発生始（鞘 葉抽出期）での使用が有効である。 初期剤、中期剤との体系防 除を行う。
	ベンケイ豆つぶ250 (ビ°リスルファン2.0% フェノキサルフ ン8.0% ベンゾ°ビ°シクロン12.0%) 250g		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬 害についてを参照。 2. オモダカ、クログワイには発生 始処理で効果が高い。
移植後3日～ノビエ3葉期（但し、収穫60日前まで）																
	ガツントZ200FG (テフルトリオン 10.0% フ°ロ°リスル フロン4.5%) 200g		◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	○	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬 害についてを参照。
移植後5日～ノビエ3葉期（ただし、移植後30日まで）																
	メガゼータフロアブル (ビ°ラクロニル3.9% フ°ロ°リスル フロン1.7%) 500ml		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1. 水口施用が可能である。 2. シズイに対しては体系処理の1剤 として使用する。
移植後5日～ノビエ3葉期（ただし、収穫60日前まで）																
	銀河ジャンボ (タ°イムロン 25.0% ビ°ラクロニル 5.0% メタゾ°スルフロン2.5%) 小包装(パック)10個(400g)		◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	○	
	メガゼータジャンボ (ビ°ラクロニル5.0% フ°ロ°リスル フロン2.25%) 小包装(パック)10個(400g)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	
上記の他に利用できる除草剤																
ノビエ3葉期まで(但し、移植後30日まで)に使用する除草剤 キクンジャーZジャンボ、ジェイフレンドフロアブル ※これらについての使用時期、使用方法はⅧ除草剤 1. 水稻 の除草剤一覧を参照すること。																
移植直後～ノビエ3.5葉期（但し、移植後30日まで）																
	クサウェポン1キロ粒剤 ジャスタ1キロ粒剤 (シクロ°リモレート3.0% トリアファモン 0.5% ビ°ラゾ°レート6.0%) 1kg		可	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	○	

防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	田 植 え 同 時	一年生		多年生										雑 草 イ ネ	藻 類 ・ 表 層 剥 離	注意事項											
			ノ ビ エ	そ の 他	マ ツ バ イ	ホ タ ル イ	ミ ズ ガ ヤ ツ リ	ウ リ カ ワ	オ モ ダ カ	ク ロ グ ワ イ	セ リ	ヒ ル ム シ ロ	シ ズ イ															
移植直後～ノビエ4葉期（但し、移植後30日まで）																												
	アシュラフロアブル (トリアフェモン0.96% ピラクロニル3.8% ベンゾビシクロン3.8%) 500ml		可	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	-	○	○											1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。
	シンズイZ 1キロ粒剤 (キザンクロホン0.8% フェンキトリオン 3.0% プロピリスルホン0.9% プロ モチド 9.0%) 1kg		可	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	-	◎	○										1. 雑草イネの発生前～発生始（鞘葉抽出期）での使用が有効である。初期剤、中期剤との体系防除を行う。	
移植後3日～ノビエ4葉期（但し、移植後30日まで）																												
	ゼータプラスジャンボ (フェンキトリオン15.0% プロピリスル ホン4.5%) 小包装（パック）10個 （200g）			◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○													1. ノビエなどの一年生雑草及びクログワイ、オモダカなどの多年生雑草に対し、移植後3～5日に処理する。	
移植後5日～ノビエ3.5葉期（但し、移植後30日まで）																												
	ボデーガードプロフロアブル (テフリトリオン5.8% トリアフェモン 0.97%) 500ml			◎	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	-												1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
移植後5日～ノビエ3.5葉期（但し、収穫60日前まで）																												
	フルパワーMX 1キロ粒剤 (ピラクロニル2.0% フルセトスルホン 0.20% メトトリオン0.9%) 1kg		可	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	○	○	○	○													1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
移植後5日～ノビエ4葉期（但し、収穫60日前まで）																												
	フルイニングジャンボ (カフェンストロール4.2% カルフェントラゾンエ チル1.8% フルセトスルホン0.44% ベン ゾビシクロン4.0%) 小包装（パック）10個（500g）			◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○													1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
移植後7日～ノビエ4葉期（但し収穫45日前まで）																												
	アクシズMX 1キロ粒剤 (ピリタリト 2.4% メトトリオン0.9% メタゾスルホン0.8%) 1kg			◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	○	○													1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。 2. 産業用無人ヘリコプターによる散布が可能である。	

使用上の留意事項（初中期除草剤全体）

<基本事項>

1. 1回の処理で雑草防除が可能であるが、植代期間が長い場合や、多年生雑草など難防除雑草が多い場合、水管理が十分できない圃場では効果が劣るので、体系処理をする。
2. オモダカやクログワイ等の多年生雑草が多い場合は、後処理剤に多年生雑草に効果の高い剤を使用する。
3. 漏水田では効果が劣るため、1回処理では十分な効果は期待できない。また、薬害が生じやすいので、漏水対策をとる。
4. 軟弱苗や根が露出している場合は薬害が生じやすいので、健苗を育成し、代かきを丁寧に行い、田面を均平にして植え付け精度を高める。
5. 水田外への農薬流出防止を図るため、水田への農薬散布後、少なくとも7日間は落水・かけ流しをしない。
6. 適正使用時期より処理が早すぎると薬害が生じやすく、遅いと除草効果が劣る。適正使用範囲内で早めに処理すると、薬害も少なく除草効果も高い。
7. 極端な高温となる7月以降の晩植ではプレチラクロールの薬害が予想されるので、この成分を含む除草剤の使用は避ける。
8. 田植え同時処理できる剤は専用の田植同時散布機を用いて散布する。ただし、重複散布や深水では薬害が生じやすいので避ける。
9. フロアブル剤、ジャンボ剤及び少量拡散型粒剤は1キロ粒剤、3キロ粒剤に比べて散布労力が小さいが、湛水深が不十分だと圃場全体に拡散できず、効果が劣り、薬害の原因となるので、5～6cmの深水とし、水の移動がない状態で散布する。また、藻類やウキクサが多発している水田では拡散が不十分で、効果が劣り、薬害も生じやすくなるので使用しない。

<粒剤>

1. 粒剤には1キロ粒剤と3キロ粒剤があり、それぞれ1袋が10a用であるので、使用量を間違えない。
2. 1キロ粒剤は3キロ粒剤に比べ、比重が大きく吐出しやすい性質があるので散粒機などでは撒き過ぎないように注意し、初めて使用する場合は、事前に散布機の吐出量の確認調整を行ってから散布する。
3. 背負い式の動力散布機使用の場合は、市販の1キロ粒剤用噴頭を用いると散布しやすい。
4. 少量拡散粒剤として250グラム、500グラム粒剤があるが、自己拡散型の粒剤なので畦畔からの周縁散布（額縁散布）が可能である。
5. 背負い動力散布機等を使用する場合は、薬剤に対応した開度に調整し、畦畔を数m歩く毎にシャッターを開閉するワンショット散布も可能である。

<フロアブル剤、顆粒水和剤、ジャンボ剤>

1. フロアブル剤はボトルから原液のまま散布する。幅30m以内の水田では畦畔からの散布が可能で、散布幅3～6mで、5～6歩すすむ毎にボトルを大きく振って水田内に薬剤を振り入れるようにする。
2. フロアブル剤を水口施用する場合、入水時に薬剤を水口付近にあけて流水とともに水田全面に拡散させる。その後、田面水の湛水深が4～5cmになったら水を止める。その後7日間入水、掛け流しをしない。
3. フロアブル剤、ジャンボ剤及び少量拡散粒剤は1キロ粒剤、3キロ粒剤に比べて散布労力が小さいが、湛水深が不十分だと圃場全体に拡散できず、効果が劣り、薬害の原因となるので、5～6cmの深水とし、水の移動がない状態で散布する。また、藻類やウキクサが多発している水田では拡散が不十分で、効果が劣り、薬害も生じやすくなるので使用しない。
4. 顆粒水和剤の薬剤調製（希釈）は散布当日に行い、専用の散布容器に水を先に入れ、次に薬剤を入れ、よく振って溶かしてフロアブル剤に準じた方法で散布する。
5. ジャンボ剤は小包装（パック）のまま水田へ投入する。幅30m以内の水田では畦畔からの散布が可能である。
6. 小包装（パック）に使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業をしない。

<その他>

1. スルホニルウレア系除草剤（SU剤）抵抗性のアゼナやコナギなどが発生した場合は、除草体系図を参考に、SU剤を含まない剤またはSU剤を含んでもクロメプロップ、プロモブチド、ベンゾビシクロン、ピラクロニル、テフリルトリオン、メソトリオン、カルフェントラゾンエチル等SU剤抵抗性雑草に効果のある成分を含む剤を使用し、残草があった場合は雑草の開花前にバサグラン等の後期剤で完全防除し、種子を結実させない。
2. SU剤抵抗性雑草に効果のない初中期剤の連用はしない。

3) 中期除草剤・中後期除草剤・後期除草剤

◎○△は適用草種、－は適用外を示し、試験場試験により◎は効果が確認されたもの、△は効果が不十分であったもの、○は効果が未評価のものを表す

区分	使用方法	防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当り使用量	一年生		多年生										雑草イネ	藻類・表層剥離	注意事項
				ノビエ	その他	マツパイ	ホタルイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	オモダカ	クログワイ	セリ	ヒルムシロ	シズイ				
中期除草剤	灌水散布	移植後20日～30日 (ノビエ3.5葉期まで)(移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用)	ザーバックスDX1キロ粒剤 (シロホップブチル1.5% シメトリン4.5% ベンフレセート6% MCPBエチル2.4%) 1kg	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	-	○	-	○	1. 雑草イネの発生前での使用が有効である。初期剤、初中期剤との体系防除を行う。		
		移植後15日～ノビエ3.5葉期(但し、収穫60日前まで)	サンパンチ1キロ粒剤 ハイカット1キロ粒剤 (シロホップブチル1.8% ジメタメトリン1% ベンゾビシクロン2% ハロスフロメチル0.9%) 1kg	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。(本県では中期剤についての薬害は確認試験を実施していない) 2. 効果発現が遅効的なので散布後オモダカ等がしばらく枯死せず残存するが、10日程度で生育が停止し、その後枯死に至る。		
		ウキクサ類・藻類の発生始～発生盛期(但し、収穫45日前まで)	モゲトン粒剤 (ACN 9%) 2～3kg	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	1. 発生の多い場所に散布しても効果が高い。 2. モゲトン粒剤を藻類のみに使用する場合は2kg、ヒルムシロに使用する場合は3kg散布する。 3. 魚毒に注意する。	
		ヒルムシロの発生始～増殖始(但し、収穫45日前まで)	モゲトン粒剤 (ACN 9%) 3～4kg	-	-	-	-	-	○	-	-	◎	-	-	-	-	3. 魚毒に注意する。	
		ウキクサ類、アオミドロ・藻類による表層剥離の発生時(但し、収穫45日前まで)	モゲトンジャンボ (ACN 9%) 小包装(パック)20個(1kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	1. 藻類が発生してからの散布では拡散が不十分で効果が劣るので、粒剤を用いる。	
		移植後15日～ノビエ4葉期(但し、収穫45日前まで)	ヒエクリーン1キロ粒剤 (ピリミナバックメチル 1.2%) 1kg	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1. ノビエ以外に効果はない。	
		移植後14日～ノビエ4葉期(但し、収穫60日前まで)	ナイスミドル1キロ粒剤 (シメトリン4.50% フルセトスルフロン0.22% ベンフレセート 6.00%) 1kg	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	◎	-	◎	◎	1. 初期剤・初中期剤との体系処理 2. 雑草イネの発生前～発生始(鞘葉抽出期)での使用が有効である。初期剤、初中期剤との体系防除を行う。

区分	使用方法	防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当り使用量	一年生		多年生								雑草 イネ	藻類・表層剥離	注意事項		
				ノビエ	その他	マツバイ	ホタルイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	オモダカ	クログワイ	セリ	ヒルムシロ				シズイ	
中期 除草剤	湛水 散布	移植後14日(稲5葉期以降)～ノビエ4葉期(但し、収穫60日前まで)	ツイゲキ豆つぶ250 (シメトリン12.0% ヒ°リミルファン3.0% フェンキトリン 10.0%) 250g	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	-	○	1. 初期剤・初中期剤との体系処理		
		移植15日～ヒ°エ4葉期(但し、収穫60日前まで)	レブラス1キロ粒剤 (ジ°メタトリン1.0% タ°イムロン10% テ°フルトリオン3.0% メ°ツ°スルフロン1.2%) 1kg	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	-	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
			ウィードコア1キロ粒剤 (ハ°ノキスラム 0.5% ハ°ンゾ°ヒ°シクロン 2.0% フ°ルビ°ラウキシフェンハ°ンヅル 0.4%) 1kg	◎	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。
中後期 除草剤	湛水 散布	移植後14～40日(但し、収穫45日前まで)	バイスコープ1キロ粒剤 (シクロヒ°リモレート 2.0% テ°フルトリオン 3.0%) 1kg	-	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	-	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。		
		移植後14日～ノビエ4葉期(但し、収穫45日前まで)	オシオキMX1キロ粒剤(ア°ジ°ムスルフロン 0.18% ヒ°リ°フ°ラ°ト°1.8% メ°トリオン 1.0%) 1kg	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	-	-	1. 初期剤・初中期剤との体系処理 2. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
		移植後15日～ノビエ4葉期(但し、収穫45日前まで)	ワイドショット1キロ粒剤 (テ°フルトリオン3.0% ハ°ノキスラム0.50%) 1kg	◎	◎	○	◎	○	○	◎	○	○	○	○	-	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	
		移植後15日～ノビエ5葉期(稲4葉期以降)(但し、収穫60日前まで)	フォローアップ1キロ粒剤 ワイドアタックD1キロ粒剤 (タ°イムロン10.0% ハ°ノキスラム0.60%) 1kg	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	-	-	1. 初期剤・初中期剤との体系処理	
		移植後7日～ノビエ4葉期(但し、収穫30日前まで)	クリンチャー1キロ粒剤 (シ°ハ°ホ°プ°ア°チ°ル1.8%) 1kg															1. ノビエ以外に効果はない。 2. 産業用無人ヘリコプターによる散布が可能である。(無人航空機による空中散布の項参照) 3. 魚毒に特に注意する(特別指導事項参照)
		移植後25日～ノビエ5葉期(但し、収穫30日前まで)	クリンチャー1キロ粒剤 (シ°ハ°ホ°プ°ア°チ°ル1.8%) 1.5kg	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		移植後15日～ノビエ4葉期(但し、収穫60日前まで)	テッケン1キロ粒剤 ニトウリュウ1キロ粒剤 (ハ°ノキスラム0.5% ハ°ンゾ°ヒ°シクロン2.0%) 1kg	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	○	○	○	○	-	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。	

区分	使用方法	防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当り使用量	一年生		多年生										雑草・表層剥離	注意事項
				ノビエ	その他	マツバイ	ホタルイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	オモダカ	クログワイ	セリ	ヒルムシロ	シズイ			
中後期除草剤	湛水散布	移植後14日(稲5葉期以降)～ノビエ4葉期(但し、収穫45日前まで)	アトトリ 1キロ粒剤 (ピリミスルファン 0.75%) 1kg	○	-	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎	-	1. オモダカは生育盛期(移植後50日程度)にも有効である。 2. シズイに対しては体系処理の後処理剤として使用する。
		移植後14日～ノビエ4葉期(但し、収穫60日前まで)	レブラスジャンボ (メタリ [®] スルフロン3.0% テフリトリオン7.5% ジメタメリン2.5% タイムロン25%) 小包装(パック)10個(400g)	◎	◎	○	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。
		移植後14日(稲5葉期以降)～ノビエ4葉期(但し、収穫45日前まで)	アトトリ豆つぶ250 (ピリミスルファン 3.0%) 250g	◎	-	○	○	○	◎	○	◎	○	○	◎	-	1. シズイに対しては体系処理の後処理剤として使用する。	
		移植後14日～ノビエ3.5葉期(但し、収穫45日前まで)	セカンドショットSジャンボMX (アジムスルフロン 0.36% ペノキスラム0.36% メトリオン 2.0%) 小包装(パック)20個(500g)	◎	◎	○	◎	○	○	○	◎	○	○	-	-	1. 一部の多収米等品種に関する薬害についてを参照。 2. ホタルイは草丈10cmまでに散布する。	
		移植後14日～ノビエ5葉期まで(但し、収穫50日前まで)	トドメMF1キロ粒剤 (メタホップ 1.35%) 1kg	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1. ノビエ以外に効果はない。	
落水・雑草茎葉散布		移植後20日～ノビエ5葉期(但し、収穫45日前まで)	ロイヤント乳剤 (フロビ [®] ラウキシフェンベンジル 2.7%) 200ml(水100L希釈)	◎	◎	○	◎	○	○	◎	△	○	-	-			
		移植後20日～ノビエ6葉期(但し、収穫30日前まで)	クリンチャーEW (シハロホップアチル30%) 100ml(100ℓ)	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1. ノビエ以外に効果はない。 2. 使用当日に調製し、展着剤を加用して散布する。		
		移植後15日～ノビエ5葉期(但し、収穫50日前まで)	クリンチャーバスME液剤 (シハロホップアチル3% ベンタゾンナトリウム塩20%) 1000ml(100ℓ)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	-	○	-	1. 使用当日に調製し、展着剤を加用せず散布する。 2. 魚毒に注意する。	

区分	使用方法	防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当り使用量	一年生		多年生								雑草・表層剥離	注意事項	
				ノビエ	その他	マツバイ	ホタルイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	オモダカ	クログワイ	セリ	ヒルムシロ			シズイ
中後期除草剤	落水・雑草茎葉散布	移植後15日～ノビエ4葉期(但し、収穫60日前まで)	ヒエクリーンバサグラン粒剤 (ピリミノパックメチル0.4% ベンタゾンナトリウム塩11%) 3kg	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	-	-	○	-	1. ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワは4葉期まで、オモダカは矢尻葉抽出期までに散布する。 2. 水中移行性が大きいので、水の出入りを止め、ごく浅水(雑草が水面に出る状態)にして散布し、散布後2日間はそのままの状態を保ち、散布後7日間は落水、掛け流しをしない。
		移植後20日(稲5葉期以降)～ノビエ6葉期(但し、収穫30日前まで)	ワイドアタックSC (ベキスラム3.6%) 100ml(100l)	◎	◎	◎	◎	○	○	△	○	○	○	○	-	1. ホタルイは花茎抽出始まで、ウリカワ、ミズガヤツリは4～6葉期まで、クログワイ、オモダカは草丈30cmまで、クサネムは草丈20cmまでに散布する。
		移植後15日～収穫45日前まで	バサグラン粒剤(ナトリウム塩) (ベンタゾンナトリウム塩11%) 3～4kg	-	◎※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	○	-	1. ノビエには効果がないので、初期剤や初中期剤で防除を行う。 2. 雑草の発生の多い場所のみに散布してもよい。 3. 液剤の方が効果が安定的である。
		移植後15日～収穫45日前まで	バサグラン液剤(ナトリウム塩) (ベンタゾンナトリウム塩40%) 500～700ml(100l)	-	◎※	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	○	-	4. 土壌吸着性がきわめて弱く、水とともに流亡しやすいので、落水状態で散布を行う。前日落水した場合や、やむを得ず浅水での散布となった場合、散布後3～4日入水しない。※「ノビエ以外の一年生雑草」に関しては、イネ科を除く雑草に対してのみ有効。

区分	使用方法	防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当り使用量	一年生		多年生								雑草イネ	藻類・表層剥離	注意事項
				ノビエ	その他	マツバイ	ホタルイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	オモダカ	クログワイ	セリ	ヒルムシロ			
後期除草剤	湛水散布	有効分げつ終止期 ～幼穂形成期前 (但し、収穫60日 前まで)	粒状水中MCP (MCPAエチル1.2%) 3kg	-	◎	△	○	△	○	○	△	○	○	-	-	1. 雑草が隠れる湛水深で均一に散布する。
	落水・雑草茎葉散布		MCPソーダ塩 (MCPAナトリウム塩19.5%) 160～200g (100ℓ)	-	◎	△	-	-	○	○	-	○	-	-	-	1. 前日に落水し、均一に散布し、その後1日は入水しない。
	グラスジンMナトリウム粒剤 (ペンタゾンナトリウム塩11% MCPAエチル1.2%) 3～4kg		-	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	1. 前日に落水し、均一に散布し、その後3～4日は入水しない。(一年生その他はイネ科を除く)

使用上の留意事項 (中期～後期除草剤)

【中期除草剤について】

1. 原則として、田植前後処理の初期剤との体系で使用する。
2. 湛水深4～5cmで、雑草が十分かくれる水深にして均一に散布する。
3. 散布後3日間は湛水深4～5cmにするが、その後は深水にすると薬害が出やすいので、浅水管理をする。
4. 各除草剤ともノビエに対する効果が大いだが、処理時期が遅れると効果が低下する。
5. シメトリンやジメタメトリンを含む剤の場合、不良苗の植え付けや6月20日以後の晩植では高温による薬害が出やすいので注意する。
6. MCPBを含む剤は高温、低温などによって薬害が出やすいので、不良苗や漏水田では十分注意する。

【中後期除草剤について】

1. 原則として、田植前後処理の初期剤との体系で用い、初期剤又は初中期剤使用後に雑草の多い場合に使用する。
2. 液剤の散布は周辺作物にかからないよう十分注意する。広葉に効果のある成分(ペンタゾンナトリウム塩)を含む除草剤は野菜類等、イネ科に効果のある成分(シハロホップチル)はとうもろこし、ソルガムなどのイネ科作物に薬害が生じるおそれがある。
3. 処理後2日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで散布する。散布後に降雨があった場合は、落水せずそのままの状態を保つ。

【後期除草剤について】

1. 原則として、中期剤使用後に雑草の多い場合に使用する。
2. 液剤の散布は周辺作物にかからないよう十分注意する。広葉に効果のある成分(ペンタゾンナトリウム塩)を含む除草剤は野菜類等、イネ科に効果のある成分(シハロホップチル)はとうもろこし、ソルガムなどのイネ科作物に薬害が生じるおそれがある。
3. MCPAを含む除草剤を幼穂形成期以降に散布すると薬害(短穂化、籾数減少)が生ずる。

(2) 直播栽培

ア 湛水直播

◎○△は適用草種、－は適用外を示し、試験場試験により◎は効果が確認されたもの、△は効果が不十分であったもの、○は効果が未評価のものを表す。

区分	使用方法	防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	一年生										藻類・表層剥離	注意事項		
				ノビエ	その他	マツパイ	ホタルイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	オモダカ	クログワイ	セリ	ヒルムシロ			シズイ	
初期除草剤・初中期除草剤	湛水散布	稲1葉期～ヒエ3葉期(但し、収穫60日前まで)	エンペラー豆つぶ250 (ヒラクロニル 8.0% ヒリミノバックメチル 3.0% フェンキトリオン 12.0%) 250g	◎	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
		落水出芽後の入水直後～ノビエ3葉期(収穫90日前まで)	オサキニ1キロ粒剤 (ヒリミノバックメチル 0.6% フロモブト 9.0% イマゾスルフロン 0.9%) 1kg	◎	◎	◎	◎	○	○	-	-	○	○	-	○	1. 登録要件では播種直後からの使用が可能とされるが、本県の湛水直播は「落水出芽」を基本とするため、その場合は落水期間が終わり入水後の湛水散布できるようになってからの散布となる。	
		稲1葉期～ヒエ3.5葉期(但し、収穫90日前まで)	カウントダウンフロアブル アバンティフロアブル カウンスルエナジーフロアブル (トリアフェモン 0.95% フェンキトリオン 5.7% フェントラサミト 5.7%) 500ml	◎	◎	◎	◎	○	○	-	-	○	○	-	-		
中期除草剤	湛水散布	稲5葉期～ノビエ3.5葉期まで(但し、収穫60日前まで)	ザーベックスDX1キロ粒剤 (ベンフルセト 6.0% MCPBエチル 2.4% シメリン 4.5% シハロップアチル 1.5%) 1kg	◎	◎	◎	◎	○	◎	-	-	-	○	-	○	1. イネが5葉未満または高温時の散布は薬害が発生しやすいので、このような条件では使用しない。	
		稲3葉期～ノビエ5葉期(但し、収穫60日前まで)	フォローアップ1キロ粒剤 ワイドアタックD1キロ粒剤 (タイムロン 10.0% ペノキシラム 0.6%) 1kg	◎	◎	◎	◎	○	○	-	-	○	○	-	-		

区分	使用方法	防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	一年生										藻類・表層剥離	注意事項	
				ノビエ	その他	マツバイ	ホタルイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	オモダカ	クログワイ	セリ	ヒルムシロ			シズイ
中期剤	湛水散布	は種後10日～ ノビエ3葉期 (但し、収穫 30日前まで)	クリンチャー1キロ粒剤 (シハホップブチル 1.8%) 1kg													<ol style="list-style-type: none"> クリンチャー1キロ粒剤及びクリンチャーEWはノビエ以外には効果はない。 クリンチャーEWは散布時には展着剤を加用する。 クリンチャー1キロ粒剤は無人航空機による散布ができる(無人航空機による空中散布の項参照)。 とうもろこし、食用びえ、ソルガムなどのイネ科作物及びキャベツの生育を阻害するおそれがあるので周辺作物への飛散に十分注意する。 クリンチャー1キロ粒剤は魚毒に特に注意する(特別指導事項参照)
		は種後25日～ ノビエ4葉期 (但し、収穫 30日前まで)	クリンチャー1キロ粒剤 (シハホップブチル 1.8%) 1.5kg	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	落水散布	は種後10日～ ノビエ5葉期 (但し、収穫 30日前まで)	クリンチャーEW (シハホップブチル 30%) 100ml (100l)	◎	イネ科○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
後期除草剤	落水散布	は種後10日～ ノビエ5葉期 (但し、収穫 50日前まで)	クリンチャーバスME液剤 (シハホップブチル 3% ベンタゾ ンナトリウム塩 20%) 1000ml (100l)	◎	◎	◎	◎	○	○	-	-	-	-	-	-	<ol style="list-style-type: none"> バサグラン(ベンタゾンナトリウム塩)はノビエには効果はない。 野菜等周辺作物に薬害が生ずるおそれがあるので飛散には十分注意する。 ごく浅く湛水して散布することも可能である。 クリンチャーバスME液剤は魚毒に注意する。
		は種後35日～ 収穫45日前まで	バサグラン液剤(ナトリウム塩) (ベンタゾ)ンナトリウム塩 40%) 500～700ml (100l)	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	
上記の他に利用できる除草剤																
ノビエ3葉期まで(但し、但し収穫90日前まで)に使用する除草剤 トップガンLフロアブル																
使用上の留意事項(湛水直播全体)																
<ol style="list-style-type: none"> 本県の湛水直播の出芽は「落水出芽」を基本技術としている。この技術は、播種直後から出芽まで落水状態を保ち、好気的な土壌条件において出芽を促すものである。初期除草剤の使用方法は原則として、落水出芽の終了後、入水しての湛水散布となる。 直播栽培では除草剤の使用時期の遅れが甚大な雑草害を及ぼす恐れがあるので、ノビエの葉齢を的確に把握し、適期散布に心がける。 代かきを丁寧にいり田面を均平にして播種精度を高め、薬害を防止し、除草効果を安定させる。 落水出芽を行った後の入水直後は減水深が大きくなるので、減水深が安定してから散布する。 ノビエ2.5葉期以降まで効果のある初期剤は水稻出芽期には薬害を生じる危険性がある成分を含んでいるものが多いため、水稻の生育を把握した使用時期を厳守する。 ノビエ3葉期まで効果がある除草剤であっても、多年草雑草の多い場合は早めに(ノビエ2.5葉期まで)使用する。 中期剤、後期剤は原則として、初期剤使用後、ノビエ残草の多い場合に用いる。 表面播種による湛水直播栽培に関する除草剤の情報については、公益財団法人日本植物調節剤研究協会(http://www.japr.or.jp/)の技術情報「直播水稻表面播種(鉄コーティング種子)にて実用性が確認された薬剤」を参照のこと。 																

イ 乾田直播

区分	使用方法	防除時期	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	一年生										薬類・表層剥離	注意事項	
				ノビエ	その他	マツパイ	ホタルイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	オモダカ	クログワイ	セリ	ヒルムシロ			シズイ
乾田期間	土壌処理	は種直後～稲出芽前(ノビエ1葉期まで)(入水15日前まで)	サターンバアロ乳剤 (ベンチオカーブ 50% プロメリン 5%) 600～800ml	◎	◎	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1. 碎土をていねいに行い、3 cm程度の播種深度を確保し、除草効果の向上と薬害回避を図る。 2. イネ出芽後は薬害が生じる危険がある。 3. 土壌が湿っている時期の効果が高い。
		は種後10日～ノビエ3葉期(但し、収穫30日前まで)	クリンチャー1キロ粒剤 (シハホップブチル 1.8%) 1kg	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中期・後期除草剤	湛水散布	は種後25日～ノビエ4葉期まで(但し、収穫30日前まで)	クリンチャー1キロ粒剤 (シハホップブチル 1.8%) 1.5kg	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		は種後10日～ノビエ5葉期(但し、収穫30日前まで)	クリンチャーEW (シハホップブチル 30%) 100ml (100ℓ)	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		は種後10日～ノビエ5葉期まで(但し、収穫50日前まで)	クリンチャーバスME液剤 (シハホップブチル 3% ベンタゾナトリウム塩 20%) 1000ml (100ℓ)	◎	◎	◎	◎	○	◎	-	-	-	-	-	-	
中期・後期除草剤	落水散布	は種後35日～収穫45日前まで	バサグラン液剤(ナトリウム塩) (ベンタゾナトリウム塩 40%) 500～700ml (100ℓ)	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	

(3) 耕起前の水田除草剤

区分	使用方法	防除時期及び処理法	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	対象雑草	注意事項
耕起前除草剤	雑草茎葉散布	耕起15日前まで (雑草生育期)	バスタ液剤 (グルホシネート18.5%) 300~500ml	一年生雑草	1. 希釈水量は100~150ℓで散布する。
		耕起前(雑草生育期)	ラウンドアップマックスロード (グリホサートカリウム塩 48%) 200~500ml	一年生及び多年生雑草	1. 希釈水量は50~100ℓで通常散布する。 2. 魚毒に注意する。
使用上の留意事項(耕起前除草剤)					
<p>1. 水に溶かして噴霧機で均一に散布する。</p> <p>2. 雑草が小さいほど、高温時ほど効果が高い。雑草の大きいときは多目の使用量で、雑草全体にかける。</p> <p>3. 散布後数時間以内に降雨に遭遇しないように天候を見はからって散布する。</p> <p>4. 非選択性(すべての植物に対して枯殺効果のある)除草剤であるため、イネや他の周辺作物に飛散しないように散布する。</p>					

(4) 水田作物刈取後除草剤(雑草イネ)

区分	使用方法	防除時期及び処理法	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	対象雑草	注意事項
水田刈跡	散布	水稻刈り取り後から春期耕起3週間以上前	粒状石灰窒素 5 5 (石灰窒素 55%) 50kg/10a	雑草イネ	<p>1. 防除効果は、有効成分シアナミドが土壌表面の雑草イネ種子に接触し、種子が死滅することによる。</p> <p>2. 散布の際は稲わらを除去し、冬期間は不耕起とする。</p> <p>3. 石灰窒素の施肥効果により倒伏や品質の低下につながるため、翌水稲作では施肥窒素量を3kg/10a程度減肥する。</p> <p>4. 詳細な留意事項は、平成30年度の普及技術「雑草イネに対して石灰窒素を組み合わせた防除体系が有効である」https://www.agries-nagano.jp/wp/wp-content/uploads/2019/04/2018-2-h02.pdfを参照する。</p>



(5) 水田畦畔除草剤

区分	使用方法	防除時期及び処理法	除草剤の種類(成分) 10a当たり使用量	対象雑草	注意事項
水田畦畔除草剤	雑草茎葉散布	収穫7日前まで (雑草生育期:草丈30cm以下)	バスタ液剤 (グルホシネート18.5%) 500~1000ml	一年生 及び多年生 雑草	1. 希釈水量100~150lで散布する。 2. バスタ液剤は多年生雑草が多い場合に効果が高い。
		雑草生育初期 (草丈10cm以下) 及び草刈り後10~20日の雑草再生期 (但し収穫前日まで)	グラスショット液剤 (ピスピリバクナトリウム塩3%) 300~500ml		1. 生育抑制剤であるので、全面枯死させず畦畔の植生を維持しながら畦畔雑草の繁茂を抑制できる。 2. 抑草期間は約40日である。 3. 希釈水量100lで通常散布する。 4. 春雑草の発生揃期散布ー草刈ー再生後散布等の体系処理で、草丈30cm程度に抑制可能である。 5. イネにかかると草丈抑制、分けつ抑制、黄化、細葉化等の葉害が生ずる。
使用上の留意事項 (水田畦畔除草剤)					
1. 水に溶かして噴霧器を用い雑草の茎葉全体にかかるよう均一に散布する。 2. 雑草が小さいうちに散布すると効果が高いため、雑草が30cmになる前に散布する。 3. 非選択性除草剤であるため、イネや他の周辺作物に飛散しないように散布する。 4. 散布後6時間程度以内に降雨に遭遇しないように天候を見はからって散布する。 5. 散布液に用いる水は泥が混入していると効果が劣るので、清水を用いる。					

(6) 飼料用イネ (WCS用、飼料米用)

【WCS (発酵粗飼料) 用イネ】

1. 使用できる農薬は、「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル (農水省生産局)」に掲載されている。
2. 本県の水稲 (食用イネ) で普及に移されている薬剤は下表のとおりである。
3. 各薬剤の使用方法は、本防除基準の水稲 (食用イネ) の項を参照する。
4. WCS用イネでも農薬の使用時期 (収穫〇日前まで) はそのまま適用される。黄熟期に収穫する場合、防除可能な期間が食用イネよりも1週間～10日間程度早まることに留意する。

WCS用イネで使用可能な薬剤

・移植栽培に使用できる除草剤

区分	除草剤名	区分	除草剤名
初期剤	エリジャンジャンボ	初中期剤	キクンジャーZジャンボ
	エリジャン乳剤		キマリテジャンボ
	サキドリEW		キマリテ1キロ粒剤
	ショキニーフロアブル		クサウエポン1キロ粒剤
	ソルネット1キロ粒剤		ジャスタ1キロ粒剤
	パデホープ1キロ粒剤		クサウエポンジャンボ
	ピラクロンフロアブル		ジャスタジャンボ
	兆フロアブル		クサトッタ1キロ粒剤
	ピラクロン1キロ粒剤		スラッシュ1キロ粒剤
	兆1キロ粒剤		クミスター1キロ粒剤51
	ベアスフロアブル		ゴエモン1キロ粒剤
	ベクサーフロアブル		コメットジャンボ
	メテオフロアブル		サスケーラジカルジャンボ
	メテオ1キロ粒剤		サラブレットKAI1キロ粒剤
	メテオジャンボ		サラブレットKAIフロアブル
	ユニハーブフロアブル		サラブレットKAIジャンボ
初中期剤	アクシズMX1キロ粒剤	サラブレットGOジャンボ	
	アシュラフロアブル	サラブレットGO400FG	
	アップレZジャンボ	シグナス1キロ粒剤	
	アピログロウMXジャンボ	シグナスジャンボ	
	ロータスMXジャンボ	ジェイフレンドフロアブル	
	アールタイプ1キロ粒剤	ジャイロフロアブル	
	シュナイデン1キロ粒剤	シリウスエグザ1キロ粒剤	
	イネキング1キロ粒剤	シロノックLジャンボ	
	イネリーグフロアブル	シンズイZ1キロ粒剤	
	イノーバDXアップ1キロ粒剤51	ゼータタイガー1キロ粒剤	
	エンペラー豆つぶ250	ゼータタイガーフロアブル	
	カウントダウンフロアブル	トップガンLフロアブル	
	アバンティフロアブル	ナギナタ豆つぶ250	
	カウシルエナジーフロアブル	バッチリLX1キロ粒剤	
	カウントダウンジャンボ	バッチリLXフロアブル	
	アバンティジャンボ	フルイニングジャンボ	
	カウシルエナジージャンボ	ピンワン1キロ粒剤	
	カチボシ1キロ粒剤51	ピンワンジャンボ	
	ガツントZ200FG	フルパワーMX1キロ粒剤	
	ガンガン1キロ粒剤	ベッカクジャンボ	
	ガンガン豆つぶ250	ベッカク豆つぶ250	

区分	除草剤名	区分	除草剤名
初中期 剤	ベンケイ豆つぶ250	中後期 剤	サンパンチ1キロ粒剤
	ボデーガードフロアブル		ハイカット1キロ粒剤
	マキシーMX1キロ粒剤		ツイゲキ豆つぶ250
	マサカリLジャンボ		テッケン1キロ粒剤
	メガゼータ1キロ粒剤		ニトウリュウ1キロ粒剤
	メガゼータフロアブル		ナイスミドル1キロ粒剤
	メガゼータジャンボ		バサグラン粒剤(ナトリウム塩)
	モーレツ1キロ粒剤		バサグラン液剤(ナトリウム塩)
	ヨシキタフロアブル		ヒエクリン1キロ粒剤
	ライジンパワーフロアブル		ヒエクリンバサグラン粒剤
	ワンオールS1キロ粒剤		フォローアップ1キロ粒剤
	銀河ジャンボ		ワイドアタックD1キロ粒剤
	天空1キロ粒剤		モゲトン粒剤
	半蔵1キロ粒剤		レブラス1キロ粒剤
中後期 剤	アトトリ1キロ粒剤	畦畔 耕起前	レブラスジャンボ
	アトトリ豆つぶ250		ロイヤント乳剤
	クリンチャー1キロ粒剤		ワイドアタックSC
	クリンチャーEW		グラスショート液剤
	クリンチャーバスメ液剤		バスタ液剤
	ザーベックスDX1キロ粒剤		ラウンドアップマックスロード

・湛水直播栽培に使用できる除草剤

区分	除草剤名	区分	除草剤名
初期剤	オサキニ1キロ粒剤	中後期 剤	ザーベックスDX1キロ粒剤
初中期 剤	カウントダウンフロアブル		シグナス1キロ粒剤
	アバンティフロアブル		シグナスジャンボ
	カウシルエナジーフロアブル		バサグラン液剤(ナトリウム塩)※
	トップガンLフロアブル	フォローアップ1キロ粒剤	
中後期 剤	クリンチャー1キロ粒剤※	耕起前	ワイドアタックD1キロ粒剤
	クリンチャーEW※		バスタ液剤
	クリンチャーバスメ液剤※		ラウンドアップマックスロード※

注) ※は乾田直播にも使用できる。

【飼料米用イネ(玄米や粳米で給餌するもの)】

1. 飼料米用イネでは稲で適用登録がある農薬が使用可能であるが、下記①～③に留意する必要がある。その上で、本県で一般水稲対象に普及に移されている薬剤を使用する。

- ① 粳米のまま、もしくは粳殻を含めて家畜に給餌する場合は、出穂期以降の農薬散布は控えること。
- ② 出穂期以降に農薬を使用する場合は、粳摺りをして玄米で家畜に給餌すること。
- ③ 但し、①②の措置を要しない薬剤として、モゲトン粒剤、クリンチャー1キロ粒剤、クリンチャーEW、ワイドアタックSCがある。

2. 飼料米用イネにおける農薬使用の詳細は、「飼料として使用する粳米への農薬の使用について(農水省消費安全局通達 令和4年12月22日)」を参照のこと。